

第502回今別町議会定例会会議録（第4号）

第4日（3月12日）

出席議員 7名

1番	綿谷敏明君	2番	中嶋惠君
3番	本間闘士君	4番	太田英一君
5番	田中哲也君	6番	小倉潤二君
7番	本郷良克君		

欠席議員 なし

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	阿部義治君
副町長	飯田哲君
教育長	佐藤泰仁君
会計管理者	奥崎匠君
税務会計課長	
参事・総務企画課長	太田和泉君
参事・町民福祉課長	山崎真直君
産業建設課長	遠田剛洋君
教育課長	相内讓君
総務企画課課長補佐	阿部真紀子君
町民福祉課課長補佐	成田秀和君
税務会計課課長補佐	澤田淳一君
産業建設課課長補佐	川村一樹君
産業建設課課長補佐	平山治門君
教育課課長補佐	嶋中哲哉君
診療所事務長	平山寛哉君
代表監査委員	相内啓司君

職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名

事	務	局	長	佐	渡	慶	剛	君	
主			事	野	土	谷	侑	斗	君

議事日程

第1 議案審議

・議案第17号 令和8年度今別町一般会計予算

午前10時00分 開議

○議長（本郷良克君） おはようございます。

ただいまの出席議員は7名であります。よって、会議を再開いたします。

日程第1 議案審議

○議長（本郷良克君） 日程に従いまして議案審議を行います。

議案第17号から第22号まで令和8年度一般会計予算及び特別会計及び簡易水道事業会計予算につき一括議題に供します。

事務当局の説明を求めます。参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君）

〔議案第17号 令和8年度一般会計予算について説明〕

○議長（本郷良克君） 暫時休憩します。11時10分から。

午前10時59分 休憩

午前11時10分 再開

○議長（本郷良克君） 会議を再開いたします。

山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君）

〔議案第18号 令和8年度今別町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算について説明〕

○議長（本郷良克君） 平山事務長。

○診療所事務長（平山寛哉君）

〔議案第19号 令和8年度今別町国民健康保険特別会計（診療施設勘定）予算について説明〕

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君）

〔議案第20号 令和8年度今別町後期高齢者医療特別会計予算について説明、議案第21号 令和8年度今別町介護保険特別会計（保険事業会計）予算について説明〕

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君）

〔議案第22号 令和8年度今別町簡易水道事業会計予算について説明〕

○議長（本郷良克君） 議案第17号、審議願います。綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 議会開会前に町長から説明がありました新幹線等通学助成金に係るものでございます。議会運営委員会によっても説明がなかったし、町長の議案提出に伴う説明にもありませんでした。しかしながら、議会運営委員会で提出された当初予算における重点プロジェクト一覧には載っています。しかしながら説明はなかったというのは事実ですので、その辺についてお聞きしたいと思います。

この問題は、本間議員が質問した際に町長から話があったのは、新幹線の通学助成の拡大をするという答弁をしました。金額にも触れてないし、一切触れてないんですけども、町長は「新幹線等通学助成を拡充する」という表現をしたと思います。間違いないですか、町長。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 私が答弁したときは、重要性なんですけれども、令和8年度から下宿等による通学者に対する支援施策、通学者と下宿という言葉を使っています、答弁で、下宿という言葉を使って。そこで最後に拡大と、支援事業の拡大をするということを申しておりました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） ありがとうございます。

しかしながら、助成金の金額については一切、たしか触れてないということです。先ほども言いましたけれども、総務課長からいただいたプロジェクトには月1万円という形で載っております。しかしながら説明がない。

その中で、皆さんもご存じのとおり、令和8年3月11日の新聞によると、対策として生徒1人当たり月1万円を支給する予定と、最後には「当初予算案が通れば」という形になっていました。

このことについてなんですけれども、新聞記者は1万円という額をどこから入手したのか、私たちはプロジェクトの資料を見て1万円が分かっているのに、議案書にも載っていません、1万円は。その中で、何で予算が通っていない助成が新聞記者に1万円と出たのかというのが私は不思議でならないんですけれども、その辺、総務課長、どういう形で新聞記者に1万円という額が伝わったのか、もし分かったら教えていただければ。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 今回、説明もなくそういった情報が出たことに対しては大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ございませんでした。

まず、その経緯です。綿谷議員からご質問ありました経緯についてですけれども、火曜日の一般質問で、繰り返しですが、本間議員からの一般質問に対して町長が答弁いたしました。その答弁内容について、議会散会后、新聞記者が私のほうに来て、先ほどの町長の答弁の下宿代というところについて詳しく聞きたいということでした。私も安易に答えてしまったところがありますけれども、重点プロジェクトにある1万円というのをそのままお知らせしたところでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 新聞によれば町長が答えたことになっているんですね。新聞によると「今別町は、10日、町外の高校に通学するため、青森市などで下宿する町内の生徒の保護者に対し2026年度から助成金を出す方針を明らかにした。定住促進対策として生徒1人当たり月1万円を支給する予定。同日の定例町議会一般質問で本間闘士議員の質問に阿部義治町長が答えた」と。町長が1万円出すと答えたと新聞に出ているんです。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） いや、これは記者の書き方なんだよね。私が答弁したのは、本間議員にした答弁よりしてないのさ。拡充と下宿代等々云々というより言ってないのさ。ただ、この記事、私も今読み直したんだけど、これを見たら最後に阿部義治町長なんて書いてあるわけで、読む人はそう読んでしまうと思うけれども、太田参事が言ったように、ぶら下がりみたいに、新聞記者が私の答弁を聞いて、役場の中で参事から話を聞いたんだけど、その中で太田参事から1万円をという話が出たようであって、私は答弁の中で1万円というの話をしてないんだけど、最後に記者に対して太田参事から1万円という言葉が出たようであります。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 記者が間違えたのか書き方が悪いのか分かりませんが、確かに報道ではそうなされたということが新聞に出て、事実で、町長が言ったことになって、私は記事を持っていますので、間違いはないですよ。

その後、町内では子供の高校進学を契機に家族で青森市に引っ越すケースがあり、町は少しでも人口流出を食い止めたい考えだと。これは本間闘士議員が質問した内容ですよ。助成は列車などを通学手段とする町民を対象とした新幹線等通学助成金の事業

を拡充した、これは町長が拡充するというので話したので、拡充した取組、定例議会に提出している2026年度一般会計当初予算案には事業全体で100万円を計上しているという記事です。

100万円ではなく100万6,000円を計上しているんですけども、町長の言う拡充ということになると、もうちょっと予算をアップするような形でなければ駄目なんではないかなど。ちなみに昨年度の予算であれば216万円、新幹線の通学なので、生徒数も減るし、減っているのは事実なんですけれども、その利用者の中でも高校生じゃなくて、専門学校とか大学生とかそういう方もいると思います。

しかしながら、1万円を出すのは私はいいことだと思います。私が調べたら青森の下宿は5万円から5万4千、5千円が相場らしいです。しかし、下宿が物すごく減っているそうです。自分たちが高校時代の下宿をやっている数と今現在はかなり減っているらしくて、なかなか下宿を見つけるのも難しいと。下宿すると5万円から5万4千、5千円なんですけれども、1万円の助成で本当に親が下宿させるんですかね。今現在、町の調べで下宿している高校生、どのぐらいの人数いるか確認していましたか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 今現在、下宿はゼロです。ただし、親戚のおうちにいる生徒は1人という確認はしております。親戚のおうちにいると。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 下宿は恐らくいないと私は感じています。さっき新幹線の利用者が今年度は何人いますかと言ったら、全て利用している人を数えて11人だそうです。高校生から先ほど言った大学生、専門学校生を含めて11人だそうです。

しかしながら、下宿の問題については、1万円は1万円で町長が決めて、議会で予算が通ると1万円の補助金を出すと。その補助金を出す条例、規則の根拠はどこにあるんですかね。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） この積算根拠になりますけれども、綿谷議員がおっしゃられたとおり、下宿代5万円という相場はこちらでも確認しておりました。これが妥当なのかどうかあれなんですけれども、そこから食費相当分の3万円を引いた2万円の2分の1ということで、今回1万円としたところでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

- 1番（綿谷敏明君） 次に聞く中身を今説明して、私が今聞いたのは、補助金、助成する規則、条例の根拠はどこにあるんですかと、条例改正とか規則改正なしで町長の判断で助成をするんですかということを知っているんです。
- 議長（本郷良克君） 参事。
- 参事・総務企画課長（太田和泉君） 新幹線等通学助成の規則がございますので、そちらを改正して運用する予定でございます。
- 議長（本郷良克君） 綿谷議員。
- 1番（綿谷敏明君） 町長のおっしゃった本間議員への答弁のとおり、新幹線等通学助成金の拡充と、公共の新幹線、交通網と住宅、下宿では全く用途が違うと考えています。もしそれをやるんだったらきっちり予算を分けて、新幹線の分と下宿の分、下宿の補助金を出す規則をちゃんとつくってやるべきだと私は考えます。今の町のやり方でいうと当初予算ができてしまってから途中で思いついたようなやり方じゃないかなと、これは私個人の考えですよ。いろいろな計画はあるんですけども、計画にものってないし、急に総務課長が渡した当初予算における重点プロジェクト一覧、下宿に補助金を出すのがプロジェクトなのか私は疑問に思うんですけども、総務課長がおっしゃったとおり、新幹線の助成の規則の中に下宿も入れて本当に交付する予定なんですか。
- 議長（本郷良克君） 参事。
- 参事・総務企画課長（太田和泉君） 下宿に関しては、今別にとっては初めてですけども、他町村で同じようなものがありました。そちらを今回参考にしているところでございます。
- 議長（本郷良克君） 綿谷議員。
- 1番（綿谷敏明君） よそでやっているから今別町もやるという答弁なんですけれども、町側がそういう考えであればそれでいいとは思いますが、ただ、厳密に言うと、乗り物の助成と住む助成を一緒にするというのは間違っているんじゃないですか。私は間違っていると思いますよ。行政であれば条例、規則をきっちり整備して、町民に分かりやすい助成をするべきじゃないですか、総務企画課長。
- 議長（本郷良克君） 参事。
- 参事・総務企画課長（太田和泉君） ほかの自治体を参考にすることということで答弁させていただきましたが、確かにそれがいいのか悪いのかというのはあるんですけども、同じ通学ということで今回やりましたが、自宅からの通学と自宅外からの通学とい

うことで、下宿の部分を自宅外通学という取扱いで予算を上げたところでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 総務企画課長、全く考えが違ούνじゃないですか。自宅からの通学、新幹線で新青森間駅まで行く通学、下宿からの通学で1万円出すんですか、説明が違ったでしょう。5万円として、食事代が3万円ぐらいですと、2万円の2分の1の補助で1万円として算定したと説明したんですよね。それで下宿から学校までの通学費が1万円なんですか、おかしいでしょう。説明がおかしいですよ。私が言っているのはそうじゃなくて、条例、規則をきっちり整備して、分かりやすい補助金を出したほうがいいんじゃないですかということを行っているんです。全然ですよ。そうすれば、寮に入っている人はどうするんですか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 寮も同じ取扱いを考えております。上限1万円なんですけれども、下宿料も同じように考えていたところでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） そうすれば、自分の例を言うんですけれども、私の子供は中学校を卒業して宮城県に行きました。県外でも同じということで該当するんですか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 新聞記事にもあるんですけれども、移住定住からいって、中には高校進学を機に家族で引っ越しする、家族全員で引っ越しすることもあるということで今回やりましたので、県内外も対象にすることで考えておりました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 下宿するのに月1万程度出して、今別町から子供たちを連れて青森に住むのを止められると思っているんですか。それ聞きたいです。どうぞ。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） その1万円で止められるかどうかというのは何とも言えないんですけれども、親御さんに対する支援によって考え方が変わるかどうかあれなんですけれども、金額1万円で止められるかどうかというのは私も何とも言えないんですけれども、親御さんへの支援と定住促進を考えたとき、どうしても下宿させなければならぬ状況に関しては支援というのは必要であって今回計上したところです。ただ、その止められる、止められないのところは、すいません、町としてはその支援という部分で

1万円計上したところでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 本間議員の質問は、子供さんが青森市に進学する際に、通学に時間がかかる、そういうことも含めて青森市に居住を求めるといふことがあるので助成が必要ではないかという質問、大雑把に言うともうそういう質問だったと思うんですけども、ただ、県外の学校の施設、下宿ではない、寮に入っても1万円は出しますよということなんですけれども、私の聞いた話だと今年卒業なさった2人は県外の学校に行くということをお母さんから聞きました。「どうするんですか」と言ったら「寮に入ります」ということだったので、その方も該当になるのは大変いいことだと思うんですけども、最後にもう一つだけ聞きたいんですけども、本当に規則、条例を新たに定めなくて、新幹線等通学助成金の中で規則を変えて、下宿、寮に入る方を該当させて補助金を出すということは決まっていますか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） まだそこは決まっておりません。綿谷議員からお話を聞きましたので、そこは新たな規則をもう一度検討いたしますので、よろしく願います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 議案が配付されたときはそういう話もないし、資料には先ほども言ったようにあったんですけども、条例の制定もないし、規則の改正がされたという話も聞いてないので、新聞に出たときは疑問に思いました。助成金を出す場合、補助金、助成金、交付金、全て条例、規則によって歳出すべきだと私は考えているので、あやふやな形で、1万円であろうが幾らであろうが、税金をそのように交付するのはいかなものかなと。今後、きっちりした、町民に分かりやすい助成制度をつかって、町民に喜んでいただけるような助成をしていただきたいと、私はそう考えますけれども、町長どうですか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 綿谷議員が言ったのは、基本的に予算の作り方が目の新幹線というところから発していて、そして今までは通学に対する新幹線等の津軽線も含めた中で助成金を出していたと。その要綱を生かしながら下宿、アパートというのを考えていたみたいなので、綿谷議員の指摘する教育振興費、学校の教育振興費あたりに目を設

けて、新幹線対策と別物でいかなければいけないというのが、それが一番ベターだと思うんですよ。ですから、皆さんがこれを可決してもらえれば、この中身をどういう直し方ができるか、その辺は、一番いいのは教育振興費の中に援助費みたいにいくのが正解だと思うので、その辺時間をいただいて、今は新幹線対策費の中で考えながら、どのようにして教育振興費に持っていくか、その辺も勉強させてください。お願いします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） ありがとうございます。そういう考え方で話ししていただければ、もっと早い解決になったと思います。

私が言っているのは、何も新規予算を設けないのに「新規事業をやります」なんですよ、簡単に言うと。町長、そういうことですよ。新規助成をするのに何も新規助成の項目がない、こういう助成の仕方。だから私がさっき言ったように、当初予算ができて途中で考えが変わってこういうことを思いついたのかなと、そう思わざるを得ないですよ。予算措置してないのに「助成金を出します」だもん。ただ、町長の答弁は「拡充します」という言葉ですよ。しかしながら、予算措置を全然しないで新規助成をするというのは全く私は考えられないことだと思います。町長が言ったとおり、新幹線の通学助成は助成、その後の学校生活に使う下宿その他は教育委員会の予算でもって子育て支援の一環、教育の一環としてやるべきです。予算の組替えを希望して、私が今までお話しした質問については終わります。

○議長（本郷良克君） 暫時休憩します。お昼にします。再開は午後1時10分から。

午前11時58分 休憩

午後1時5分 再開

○議長（本郷良克君） 会議を再開いたします。

小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 午後一番の質問です。

午前と同じ質問なんですけれども、午前中は綿谷議員の厳しい質問に随分苦しめられたようなんですけれども、私は素直に簡単に聞きたいと思います。

まず、この新聞記事ですね。まだ予算措置されていないのに、間違った、誤った記事なんですけれども、この取扱いについてどうするか伺います。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 1万円というのが小倉議員は誤った記事と話しただけでも、こちらで1万円という言葉が発しているの、その辺はどうなのかという感じがしますけれども、マスコミに記事の修正等ができるのかどうか、その辺を確認したいと思えますね。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 間違ったとかそういうやつでなく、まだ予算措置されていないあれなんですよ。それを1万円という金額を載せている、このことに関して、絶対おかしいでしょう、記事が。それについてこれからの取扱い、お願いします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 取扱いというよりも、こっちが発したことを新聞記者が書いた記事なので、これからどういう対応するか考えていきたいと思えます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） ただ、これを長引かせてしまったらやばいですよね。ですから早めに訂正するなり、新聞記者との会話でどうするのか、そういうのも含めて対応していただきたいと思えます。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 近日中に東奥日報の記者と私が話しする、この件でないですけども、会って話しするようにしますので、来週の火曜日に会うことになっていますので、その辺で小倉議員が言った修正なりどうするか、新聞記者と詰めていきたいと思えます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） まずはなるべく早めにこのことについては解決していただきたいと思えます。

それともう一つ、この新聞報道なんですけれども、「町外の下宿の高校生に」とありますが、先ほどの綿谷議員の質問に対して「県外も含まれる」と言いましたけれども、これも同じなんですよ。これから条例改正、議会に提出すると思うんですけども、これも含めて早めに対応をお願いしたいと思えます。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） それでは、予算書の33ページ、昨日の一般質問で町長はふれあい文庫は賃貸借物件だということで、歳入に60万円がのっていますけれども、1年間で60万円、月5万円という算定の仕方なのでしょうか。

- 議長（本郷良克君） 参事。
- 参事・総務企画課長（太田和泉君） ふれあい文庫2階賃借料60万円、太田議員がおっしゃったとおり月5万円の12か月分でございます。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） これは事前に契約書とか賃貸借に絡む書き物があるのでしょうか。
- 議長（本郷良克君） 参事。
- 参事・総務企画課長（太田和泉君） ふれあい文庫とNPO法人との覚書を交わしているところでございます。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） 賃貸借、お金が絡むことなので、覚書では不十分なので、きちんとした町とNPO法人との賃貸借契約書を交わして予算措置という形でなければ問題があると思うんですけれども、いかがでしょうか。
- 議長（本郷良克君） 町長。
- 町長（阿部義治君） 交わした書類はあるので、私の記憶では覚書というイメージはないんですけれども、賃貸借の形、建物の貸借だと思うんですけれども、今、書類を探していますので、後で提示します。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） あるということなので、後で、今日でも明日でも写しなり何なりを提示していただければと思います。
- 議長（本郷良克君） 町長。
- 町長（阿部義治君） 正式なタイトルを申し上げます。今別町ふれあい情報館賃貸借に関する覚書でした。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） 覚書というのは法的な拘束力を発揮しない場合があるので、きちんとした賃貸借契約書というタイトルで契約を結んでもらわないと、向こうがそれは相談事項でしょうと言われると向こうが勝訴します。その辺について、厳密に町の財産を管理する上ではきちんと法令にのっとった契約書を交わしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
- 議長（本郷良克君） 町長。
- 町長（阿部義治君） ちょうど覚書を交わしたばかりで、昨日、入所した状況でありま

すので、NPOとうちとでやっておりますので、太田議員は覚書でなくということだったので、その辺はちょっと時間を下さい。先日交わしたばかりだったので、その辺ちょっと時間を下さい。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 前々からいろいろなことを私は指摘してきたんですけれども、こういうことは稼働する前に正式な書類を交わしておかないと、例えば昨日入って今日使用してみたら不具合があるので出ますよとなれば、それはそれで何も言えなくなってしまうんですよ。ということを見ると、最悪の事態も想定しながら、こういうことは規則を設けるなり契約書を交わすなりきちんとしていただきたいと思うんですけれども、実際昨日から使用していると思うので、契約書を交わすのであれば、昨日もしくはその前の日付で交わしていただきたいなと思いますので、よろしく善処をお願いします。

引き続き質問してよろしいですか。

35ページの物品売却収入、古紙販売代金とありますけれども、これは庁舎、役場内だけのものなんでしょうか、その他関連、学校は学校の予算だと思うんですけれども、関連とかいろいろなところがあると思うんですけれども、それも含まれているんですか、中身をお知らせください。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○参事・町民福祉課長（山崎真直君） 古紙販売代金につきましては、町庁舎だけではなくて、全町の古紙を集めたものになります。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 分かりました。昔、役場は普通の使用済みの用紙と段ボールと新聞紙とかという形で、売却するもの、処分されるものということでやった記憶が私はあるんですけれども、そういう形で庁舎のものと町内の古紙ということで19万円、何か若干少ないような気もするんですけれども、今は買上げがそんな低価格になっているんでしょうね。分かりました。

それから、ふるさと納税寄附金500万円の根拠、どのような根拠で500万円という金額が出ているんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） ふるさと納税の寄附金ですけれども、まず現状をお話しさせていただきます。2月25日に集計をかけたんですけれども、そのとき429万

円でした。前年度、令和6年度の実績で587万9,000円ということで、それらを勘案して500万円ぐらいと。2月25日なので、この後もふるさと納税が若干見込まれておりますので、500万円ということで今回計上したところでございます。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 今いろいろな自治体でふるさと納税に関して規制なり国からの罰則なりで様々問題が起きているので、そういうことをきちんと踏まえて、ふるさと納税の見込みといたしますか、対応を厳しくやっていただきたいなど。返礼品とか昔は地元で30%確保したものであればいいとか様々あったんですけれども、今はたしか100%地元のものでなければ返礼品扱いにならないとかという情報を前に聞いたような感じもするので、そういう感じで返礼品の対応なり何なりもいろいろ考慮しながら、ふるさと納税、せっかく納税してもらっても問題が生じて返さなければならないとか、国からの交付金でしたっけ、あれが削減の対象になったりするといけないので、その点については十分注意していただきたいと思います。

次の37ページに企業版があるんですけれども、企業版についても様々な累計をするための資料というか、データがあると思うんですけれども、その点について、言える部分で教えていただきたいと思います。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 企業版ふるさと納税については、言える範囲ということだったので、予定している企業はございます。令和7年度中においても途中だったんですけれども企業版ふるさと納税がありましたので、それを今回は当初で見込めるということで見込んだところでございます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 117ページ、確認のためにお聞きします。

これは町民からの質問なんですけれども、脳ドック費用助成費45万円が盛り込まれていますけれども、今現在、半年に1回、年1回とか個人的に定期検診して脳を診察してもらっている方がいるそうなんです。年1回、半年に1回受けた方でも脳ドックの助成を受けることができるのでしょうか。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○参事・町民福祉課長（山崎真直君） 状況によると思うんですけれども、病気があって定期的に受けている方であればこれとは別になってしまうんですけれども、検診で受け

ているものであれば対象になります。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 病気とかそういうやつではなくて、定期的に自分の体を心配して半年に1回、年1回とか、先生とのやり取りをしていたらしいんですよ。それが脳ドック助成費に当たるのか、それを知りたかったのでお聞きしました。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○参事・町民福祉課長（山崎真直君） 基本的には対象になります。ただ、年齢の制限がありまして、今年度においては40歳から65歳までということで、申込みが少なく、今のところ1件です。なので、来年度は年齢を延ばしまして70歳までにいたしました。なので、来年度は40歳から70歳までの方であればこの助成の対象になります。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 63ページにあります今別町創業支援事業補助金についてなんですけれども、昨日、今別町特産品開発の質問をさせていただいて、すごく使いづらいから利用がないんじゃないかというお話をしたんですけれども、改めて要綱を見直したら、非常に使いやすい、50万円まで累計で使えるということが分かって、それはすごくいい補助金だと思ったんですが、創業支援事業補助金と特産品開発の補助金は併用することができるのかどうか伺いたいんですけれども。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちらの補助金については併用できません。創業支援に関してなんですけれども、せっかくなので状況を言えば、今年度は1件申請がありました。それは開業というか、創業なんですけれども、それに補助金が出ているところで、特産品の開発とはまた別ということです。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 私の記憶が正しければ、創業支援事業は融資を受けたときの信用保証の部分を町が負担するとかそういう感じでしたか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 例えばですけれども、空き家等を使って新たに開業する場合、開店する場合、そこにかかった経費等について補助するということです。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 歳入、12ページなんですけれども、町民税及び固定資産税の額が

異常に伸びて、町民税を見ると所得割が伸びているように見受けられます。ただ、人口は減っているし、なかなか若い人がいないのに所得割が異常に伸びているので、固定資産税もそうです。恐らく償却資産なので、企業の償却資産だと認識しているので、その辺の伸びた根拠をお示ししていただければ。

○議長（本郷良克君） 奥崎会計管理者。

○会計管理者税務会計課長（奥崎 匠君） 質問のありました住民税、個人住民税の所得割の伸びについてですが、近年、米農家は米の価格がいいことから所得がかなり伸びているという状況もありますし、給与所得者は賃金上昇によるものとして見込んだ結果、かなりの伸びが見込めました。

また、固定資産税、償却資産につきましては、電力、漁業関係の機械等の設備投資による新規の償却資産の導入により増となる見込みでこのような結果となりました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） そうすれば、町民税は農業所得の向上と今騒がれている労働者の賃金アップによる上昇ということで、昨年度から見ると1,300万円ぐらい上がったということでもいいんですか。

固定資産税は、大きい今別にある北電の関係で償却資産が一気に増えたという解釈でよろしいですか。分かりました。ありがとうございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 69ページにあります生成A I 導入業務委託料に関してなんですけれども、昨今、生成A I の活用は各自治体でも導入されているかと思いますが、当町で生成A I を導入する場合、どのような業務を担うもしくは負担するつもりで導入するのか、委託するのかお聞かせください。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちらは新規事業でございます。想定しているのは生成A I を職員が業務用のパソコンで活用し、企画のアイデア出しとか文書の要約とか、近年、挨拶文が多くなっていますので、挨拶文の参考とするため、導入する予定です。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 生成A I を導入するのは、業務の効率化の観点からいけば取り入れるべきだと認識しておるんですけれども、この委託料というのは業者か誰かにお願い

いして設定をしていただくという形なんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 今年度中もお試してみたいな感じでやりました。それは全然お金がかかるものではないんですけれども、そういった形でまず体験してみたところでございます。そういった業者に見積りというか、委託をお願いしているところでございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 生成A Iを導入、パソコンになると思うんですけれども、そのパソコンは大体どの程度導入する予定なんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 基本、職員の業務用パソコンで活用できるようになっていますので、新たにパソコンを準備するとかではないです。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 想像すると業務用のパソコンからログインして活用できるみたいな形を想定しているんですけれども、その形でいいでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） そのとおり、大体そういう感じです。よろしくお願ひします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 131ページ、ガラスハウスについてです。

二股地区の上股のガラスハウス、役場の資産として買取りが進んでいるはずですがけれども、二股地区にもう1つガラスハウスがあるんですよ。そのガラスハウスは、今までやっていた人がもうできないと、体が悪くて。やれる人を自分でも探したみたいなんですよ、町の今のやつをやる人がいないという話も出ていましたので、一緒に。そこは役場の土地ではないんです。上物だけが役場の建物なんですよ、ガラスハウス。この場所が分かりますか。二股の上股に入っていくところの下のガラスハウスなんですけれども、これも一緒に上股のガラスハウスと同様に考えていってほしいなと思っておりますが、町長。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 町として、先般、議員の皆さんと相談して、土地買収もできます

よと伺っていました。その結果も地主からオーケーをもらったということで、今やっています。解体はこれから皆さんと相談してやっていくんですけども、あそこの6棟の。次の場所というのは、橋から下に下りていったところだか、橋を渡って下りていったところでないか。そこは何棟あるんだっけ。今回、算定の評価が入るという話で、当初にのっているはずなんだけれども、改めて小倉議員から聞いたので、担当課と相談しながら、協議しながら、今年度、まず地主とも話ししていかなければならないし、今初めて聞いた。その辺、担当課と話ししながら、その辺また相談をしていきたいと思っております。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 先ほど申し上げましたけれども、ここを自分ではできないそうなんです。そこを整理したいと。整理する前に、町民に募集とか、やりたい人を募ったみたいなんですけれども、いなかったと。そういう内容でしたので、今ちょうどいい機会かなと。上股のガラスハウスもそう考えているので、これを一緒に考えていったほうが後々いいんじゃないかと思って質問しました。いいです。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 小倉議員は一緒にしたんだけど、別物で動いていくはんで、よろしくをお願いします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 歳入の15ページなんですけれども、地方消費税交付金、これの国の流れを見ると消費税は食料品ゼロ%とか、かなり見直しが今後されるのではないかと。その中で、法が変わることで地方消費税交付金がかなり減るのではないかという報道もされています。恐らく来年度の予算ではかなり、今年は6,000万円なんですけれども、今別町の歳入の6,000万円というのは大きな額ではないかなと思って心配しています。

例えば消費税がゼロになった場合の今後の歳入の見通しというのは、今別町は苦しくなると思います。そのことも踏まえて、消費税がなくなった場合の地方への国からの予算措置、そういうことも今後陳情及びお願いする必要があると私は考えているので、来年度に向けて、私たちも力添えはさせていただきますので、町長自ら行動していただいて、陳情なり情報収集、また議員の皆様と協力しながら予算確保に向けていただきたいと私は考えますけれども、町長、どう思いますか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） ありがとうございます。勉強不足でそこまで頭が回らなかったんだけど、情報収集も含めながら、国等への要望、県に対する要望、来週早々、町村長が集まる会合があるので、ほかの町村長とも話ししながら情報を集めて意見交換したいと思っています。よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） このことについては町民の皆様の生活を守るためにも必要な行動だと思うので、町長にはぜひとも強い要望を出していただいて、予算を確保していただきたいと思います。よろしくお願いします。以上です。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 毎年聞くようで申し訳ないんですけども、17ページ、交通安全対策交付金1,000円、款項目を存在させているんですけども、去年の実績はたしかゼロでしたよね。ここしばらくずっとゼロなんですか、その辺確認します。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） ここ数年というか、ここ何年もゼロが続いているところです。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 昔は罰則金とかそういうものがこの財源だったんですよ。交通取締りとかなんとかの罰則金がこの財源だったんですけども、安全協会とか警察とかそういうところから情報をもっと収集して、もらっている町村は確かにあるはずなんですよ。要するにスピード違反なり駐車違反なり何なりの罰則金の膨大な金額が県に入っているんで、要望しなければ交付しないような体制にもしかすとなっている可能性があるんで、昔は交通診断とかなんとか、安全協会とか交通指導とかで町内を回ったり、そして要望箇所を出したり要望事業をしていたものなので、町村からの働きかけがないから交付されてないような感じも受けるので、その辺確認していただきたいんですけども、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 一覧表で県内自治体に幾ら交付されているというのが来ております。毎年ゼロです。多分というか、これに係る算定みたいなのも多分あると思います、基礎数値みたいな。そこは、すいません、手元にないのであれですけども、それがいつも当町においてはゼロということでございます。要望活動をやってそ

こが増えるかどうかというのは調べてみますけれども、今のところは基礎数値の中での交付ということになっていると思います。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 交付金に割り当てられる比率は、県で60%、地方に40%だったんですよ、昔は。今はどうなっているか分かりません。その40%を取り合いするんですよ。ガードレールを整備してくださいとか、カーブミラーを設置してくださいとか、幅員をやってくださいとか、カーブを緩やかにするためにとかいろいろ要望をして、そこで採択順位が決まって、例えば1,000万円要望して50万円しか来ないとか、そういう事業なんですよ、もともとは。なので、要望をきちんとしなければ採択基準も何も関係なくゼロです。ですから、きちんと要望しなければならぬ事業のはずなので、その辺の根拠を再確認して、蟹田署の交通係とかにお話しすれば、ある程度の内容は分かると思うんですけども、その辺、早めに確認していただきたいなと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 39ページなんですけれども、民生費県補助金4節医療福祉費補助金、今別町では小中学校の給食費が既に無料になっております。青森県学校給食費無料化等子育て支援交付金318万9,000円、既に今別町は無償化しているので、県から来た318万9,000円の充当先、どのような形で318万9,000円が町民のために使われるのかお聞きいたします。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○参事・町民福祉課長（山崎真直君） この交付金につきましては、議員おっしゃられたとおり、給食費は無償化になっておりますので、今現在使われているものとして、児童のインフルエンザ、小学校の運動着の無償化、修学旅行の助成事業、中学校の制服、こども園に支給しているおむつなどに補助金を充てております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 学校教育と子育ての保育園関係の予算に充当しているということによろしいですね。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 次の31ページの農林水産業費県補助金2節林業費県補助金100万円、有害鳥獣捕獲体制強化事業補助金、これは県から100万円来るんですけども、猟友会への補助金とか鳥獣被害の関係に充当することになるんですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） こちらについては、6款2項林業総務費の中にある熊対策用備品購入費として、赤外線とか搭載型のドローンと熊のおりに充当する予定になっています。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 熊のおりは、たしか令和7年度の補正で1基要求して、既に設置できるような形になっているんですか。それに加えてもう1基ということは、いろいろな熊のわなの種類があると思いますけれども、令和8年度に購入するものも入れて全体で3基ということよろしいですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 去年、令和7年度は箱わなを1基、補正で導入しております。令和8年度につきましても箱わなを2基導入しようとしています。箱わなについては、令和8年度の2基を加えて全部で3基、熊用の箱わなが3基になります。そのほかにドラム缶タイプのおりもありますので、熊用のおりとしては全部で4基ということになります。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 綿谷議員から鳥獣の問題が出たので、ついでに聞いておきます。

145ページ、緊急銃猟時補償費用保険料、この保険料は中身的にどういった内容なんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） こちらについては、緊急銃猟が発生した際とか猟友会に出動をお願いするんですが、その9名分の賠償責任の分と傷害補償の分として掛ける保険になります。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） その辺は分かりました。ただ、私が質問したのは、2月28日に猿に追われてけがをした人がいるんですよ、誰かは言えませんが。そのけがが重傷なので、そういう場合に利く保険なのかなと思って聞いたんですけども、そうじゃないんですよ。あくまでも鉄砲を持った人が対象の保険料なんですよ。

もう一つ聞きたいのは、万が一、猿によってけがをした場合、何ら補償とかないんでしょうか。

- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 猿によってけがをされた方というのは、猟に行っただけではなくて、地域住民の方でしょうか。（「はい、そうです」の声あり）地域住民の方であれば、申し訳ございませんが、町でそれを補償する保険とかというのは今現状はないです。
- 議長（本郷良克君） 小倉議員。
- 6番（小倉潤二君） 分かりました。ただ、昨日も朝の9時、襲月地区なんですけれども、30頭以上の猿が道路を横断したり畑を荒らしたりしていたそうなんです。これからもそういうことが、人身被害が起きないとは限らないので、その辺、町でも何か、対応はできないと思うんですけれども、補助とか何か、何かないでしょうか。総務課長、何かないですか。
- 議長（本郷良克君） 参事。
- 参事・総務企画課長（太田和泉君） 私たちの管轄は交通災害共済しか出てこないんですけれども、そういった災害共済みたいなのがあればいいと思うんですけれども、その辺、すいません、勉強します。
- 議長（本郷良克君） 小倉議員。
- 6番（小倉潤二君） これから増えてくると思うんですよ。1回そういうことをやった猿というのはそういうのがくせになっちゃって、また襲う可能性があると聞いていますので、何か町でもそういう対応を、そういう取組を考えておいたほうがいいのかと私は思うので質問しましたので、これからよろしく願いいたします。
- 議長（本郷良克君） 綿谷議員。
- 1番（綿谷敏明君） 小倉議員が質問したところの保険ではないんですけれども、緊急銃猟に関して、熊の駆除に対して、私、12月に質問した記憶があるんですけれども、その際に、緊急銃猟のマニュアルをきっちり作成して実施する必要があるのではないかと。たしか外ヶ浜町はマニュアルをつくったような新聞報道がされましたが、保険も大事なんですけれども、保険より先にマニュアルをつくって、きっちりできるような形で、保険を適用しないような銃猟の仕方をする必要があると思うので、マニュアルを作成したのか、その辺をお聞きします。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） ご質問の緊急銃猟マニュアルについては、原案を作成し

て、現在、関係機関、警察、消防、猟友会その他に意見聴取をかけている最中ですので、近々皆様にお知らせして策定という流れになるかと思えます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 新聞報道によると既に県内あちこちで熊が出没しております。ある人いわく、熊の足跡があるところもあるという話も聞いていますので、今やっていますというのは分かるんですけども、急がなければ駄目なんです。保険も大事です。保険を使わないような緊急銃猟をするために、マニュアルをきっちりつくって訓練をしたり、事務的な訓練、現場の訓練、分けて実施しないと、防災と一緒にです。訓練しないとなかなかそのとおりにいかないもんです。なので、雪解けも早いし、早い時期にマニュアルを作成して完成させて訓練をします。事務的な訓練、机上での訓練と外での訓練を繰り返すことで保険を使わないような緊急銃猟をやる、それが私は行政として大事だと思いますけれども、課長はどう思いますか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 確かに青森市内とかでも熊の目撃情報が既に発生して、当町でもいつ出てもおかしくないのかなという危機感は持っておりますので、マニュアルの作成も、意見聴取の回答も返ってきていますので、早急に作成して今後に備えていきたいと思えます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 今別町でも外ヶ浜町でも熊が町民の近くまで来ているというのは事実なので、その辺も踏まえて、人的被害が起きてから実施しても意味ないですよ。人的被害を防ぐために、マニュアルを作成して瞬時に対応できるようにしていただきたいと私は思うので、今後速やかに事務を進めていただいて、猟友会の皆さんと現場での訓練をするなり、警察も含めた訓練が必要ではないかと思うので、ぜひとも早い事務を進めていただきたいと思えます。以上です。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今の熊以外に猿のマニュアルもよろしく願います。

147ページ、ナラ枯れです。これは以前にも質問したんですけども、333万5,000円、これは大泊地区の墓地だと思うんですけども、このほかに危険な場所が鍋田地区、神社のナラの木が危険な状態なんです。地区の人から苦情が来てないので分からないと思うんですけども、これは確認していますよね。

- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 町内のナラ枯れについては、担当職員と課内の者で巡回して確認に回っております。今回の当初予算にのっているのは大泊の墓地の分ともう1件、ほかにあった分として2件分を今回計上しております。
- 議長（本郷良克君） 小倉議員。
- 6番（小倉潤二君） 鍋田地区のナラ枯れのナラの木は入っていないということですね。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 大泊以外のもう1件については、どこにするかという場所選定はまだ決定しておりません。
- 議長（本郷良克君） 小倉議員。
- 6番（小倉潤二君） もしできるのであれば、これは神社の中にある木なので、神社庁か地区の人とも相談しながら、これを先に急いでほしいんですよ。すぐ道路沿いです。道路を止めてしまうような巨大な木ですから、今の予定に入っていないかもしれませんが、もしできるのであれば、もう一つの予定に鍋田地区のナラ枯れの木の伐採を私は要望します。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 鍋田のところに関しては再度確認の上、そこにするか、もしくはほかにもっと危険なところがあるかもしれないので、もう一回確認した上で対応したいと思います。
- 議長（本郷良克君） 小倉議員。
- 6番（小倉潤二君） 取りあえずというのは変なんですけれども、道路なんですよ、これ。倒れるとしたら道路なので、ここが多分2番目に危険な場所だと思うんですよ、木の大きさからいっても。これは神社庁とか地区の人と一緒に相談しながら早めにやっていただきたいと思います。以上です。答弁はいいです。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） 私からは、145ページの熊対策備品購入、これは熊のおりのことだと思います。秋田で熊用のおりに熊が入って、おりを壊して逃亡したという事例があります。秋田県で使った熊捕獲のおりというのはイノシシを捕獲するために製作されたおりで、今まで熊は破ったことがなかったので、熊にも対応できるという対応策でやったらいいんですけれども、新たに熊用のおり、熊用ということで買うのであれば、強度

なり何なりをきちんと確認して、補強が必要であれば業者に補強してもらって、厳に熊に対応できるものを購入していただきたいと思うんですけども、購入の際の仕様書というんですか、そういうのは検討されていますでしょうか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 先日、補正で購入した箱わなもそうなんですけれども、イノシシ用の流用とかではなくて、メーカー等に確認して、ちゃんと熊用として強度もあってというものを選定して購入しておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 熊用といっても今まで本州で使っている熊用のおりというのは貧弱なもので、北海道で使っているヒグマ捕獲用のわなに比べるとおもちゃです、実際。なので、その辺については、業者を信頼するのではなくて、きちんと知識、見識を高めて対応して、いいものを購入するように心がけていただきたい。業者の言いなりで、「これは私たちが自信を持って作りました。ところが思ったよりも大きい熊がかかって壊れてしまいました。これは我々の想定外です」という逃げ答弁ができないように、きちんと対応を迫って購入していただきたいと思います。よろしく願いします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 歳入なんですけれども、35ページの物品売払収入のところに、官行造林、国有林造林、分収造林とあるんですけれども、町保有の官行造林、国有林造林、分収造林の面積及び売払できる面積をお聞きしたいんですけれども。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 申し訳ございません。面積については控え等準備していませんので、準備でき次第の提示でもよろしいでしょうか。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 予算に1,000円上げたということは、もし売払う場合に困るので1,000円を上げているのは分かるんですけども、金額じゃなくて、私がお尋ねしているのは保有の面積と売買できる面積をお聞きしたので、資料がないということなので、後で資料提供ということですか。後で休憩中に持ってきて報告ということですか、それとも後でということですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 休憩ですぐ持ってこれるところに資料があるとは私も思

わないので、調べて準備でき次第、早急に提示するという形を取りたいと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） おそらくそういう質問は出ないと思って安心していたと思うんですけども、後で資料提供していただけるように、私は前々から林業関係にはかなり鋭い質問させていただいているので、後で資料提供をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 41ページの教育振興債、エアコンの事業で650万円、総合体育館の空調で1億3,000万円、これと歳出の額が合わないのは、この額はそのほかに何か含まれているんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 上の特別教室エアコンの650万円に関しては、今別小学校、中学校の特別教室のエアコンに充当しております。（発言あり）小中分かれています。起債は1本で借入れするというので一緒にしておりました。

体育館に関してですけれども、施工管理業務委託料と工事費に充当しているところがございます。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 本体工事、物品に起債を充当するのは必要だからしょうがないと思います。ただし委託料に関してこれを充当するというのは、私はあまり好ましくないんじゃないかと。なぜかという、残らないものです。消えてなくなるものです。なので、起債の使い方で、いろいろ後で答弁するに当たって、委託料が500万円かかりました、1,000万円かかりましたと。工事が終わってしまうと消えてしまいますよね。ということなので、委託料に関しては一般財源なり何なりを充当するような考え方を持っていただかないと、何でもかんでも起債起債となれば、とんでもないことになってしまうと思うんですけれども、町長、いかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 財源を探しながらいくので、一番いいのは、委託料600万円であれ800万円は起債にのせていきたい。消えるという話なんだけれども、実際起債の許可が認められているので、今別だけでなく、大きくなれば1,000万円以上の設計委託料でも皆さんのせていきますので、今回はエアコンもそうだけれども、体育館の空調設備も合体させたので1億3,000万円の起債で歳入を見ている状況です。消えてしまうとい

うんでなくて、全体の中での設計委託料になっていますので、その辺は、私は今までこういう起債をやってきたけれども、今までそういう扱いをしてきたので、何でもかんでも起債と言われるけれども、今別町は起債が大きく伸びない中にいますので、30億円のところで止まっていますので、それをいいから使えということじゃなくて、今回は起債の借入れも少なくなっています、対前年比。そういう中で、とにかく今のところは、さっき固定資産税が伸びたというのも、綿谷議員は消費税の話でこれから6,000万円がなくなったらどうするんだというのも、そういうのも考えながら、あまり基金に手をつけないような形で向かっていくところで、何とかこれはご了承願いたいと思います。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） この事業に関連して、体育館の空調に関しては、町長室で町長が我々にお話ししたときは3種類の方法を考えていると、最善策を講じたいので、最善策で1億1,000万円ぐらいかかるような話をしておりました。ところが、予算書には最善策の1億2,000万円でしたか、載っています。これは最善の工事をやるという前提で先日若干説明があったんですけれども、最善の策がそれなのかどうなのか、我々に口頭でなくて資料提供していただけないでしょうか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 全員協議会の際に、その前に町長室でも話したんだけど、小倉議員から1億円は高いんじゃないかという話も出た中で、私が考えているのは、予算を出しております。歳入歳出を出しています。そういう中で、1億3,000万円が云々でなくて、これからどのぐらいの額まで落とせるかという悩みの中にいます。3パターンと言ったんですけれども、私が3パターン見せてもらったのは、ガス、電気、電気の3パターンを出してもらいました。ガスが1億2,000万円云々です。片一方が1億5,000万円ぐらいです。片一方が1億7,000万円ぐらいです。そういうパターンを出してもらいました。それに対しては、皆さんに議会後に1回、これから臨時議会も4月の予定でいますので、議員の皆さんと図面を見ながら、この工事が1億円なり1億円を切ってコンパクトなものにできるかどうか、それも含めて皆さんに3パターンも見せながら相談したいと思っています。

参考までに、前も話したんだけど、鶴田町で小学校か中学校のどっちかが避難所になっていて、去年訓練したら暑くてどうにもならないということで、町民からの苦情で、鶴田では8,000万円から9,000万円、ガスで9,000万円弱の工事が終わろうとしてい

るみたいです。それが鶴田の参考。

県では、この間、新聞に載っていた県の教育委員会では、県立高校関係について8校分、市町村で避難所としている学校について8校分を令和8年度に予算化ということで新聞に載っていました。大体13億円ぐらいです。その13億円の中には、W i - F i、トイレの改修、空調設備ということで13億幾らと載っていました。8校で単純に割れば大体1億7,000万円というのが出ています。私は県の教育委員会の資料をもらおうとしています。鶴田からももらおうとしています。

1億二千何万円が独り歩きでなくて、皆さんと相談しながら、実施設計に入る前に皆さんと相談しながら、どの策がいいのか、最終的に9,000万円まで落ちるかどうかも含めて、私もこれからデータを集めていきますし、皆さんと相談しながら、できるだけ4月の早い時期に、臨時議会があれば全体の図面も見ていただきながら皆さんと議論したいと思っていましたので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 私がこれにこだわるのは、いつだっけ、12月議会でしたっけ、田中議員がたしか体育館の空調に関して質問していたと思います。本間議員でしたか、両方だか。たしか質問されていたと記憶しています。そのとき、スポットクーラー等を考えますよという総務課長の答弁、それに対してスポットクーラー等で大丈夫ですかという議員からの質問が再度あって、教育長が再度考えて適切に対応しますというところで話が終わっています。その話の後に、町長は我々にこういう素案がありますよというのをお話ししています、町長室で。予算書の額を見たときというか、予算書を見たとき、予算が足りなくて工事できないというのは困るので、予算措置は最大限見てくださいよと私も町長室で言いました、確かに。

ただし、前日の教育課長の答弁みたいにガス一本みたいな話をされると今までの話合いが無になってしまいます。極端に言うと虚偽の答弁ということになってしまいます。そうならないように、事前に、こういう予算で、こういうパターンがあって、こういう資料を集めたんですけれどもというような事前の情報提供があつてしかるべきだと思うんですけれども、私の考えは間違っていますでしょうか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 太田議員の考えが間違っているか、それはそうです。課長がガスという言葉が発したのは、私が1億3,000万円ぐらいのものは仕様がガスというのを1

回説明したので、課長はガスというのが頭にあったと思うんですよ、それでこの間の会議の中でガスという言葉が出たと思うんですが。

今言ったように3通り、電気、電気、ガスということで何種類かのパターンを出してもらった中で金額が一番低いところの1億3,000万円のやつを出してもらっています。さっきも言ったように、それについては皆さんと早いうちに協議して、図面を見てもらったり、これだけの金をかけるのであれば、1億3,000万円じゃなくて、1億円を切る、3パターンの中で機械をコンパクトにすれば下がるのかどうかも含めながら勉強して、皆さんと図面を見ながらいろいろ相談していきたいと思っています。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 私がこれにこだわるのは、町長が1期目に総合体育館を建てるよとなったとき、基本設計を見たとき、私は指摘しました。冷暖房、床、ステージ、いろいろなところを指摘というか、質問しました。そうしたら設計屋はこういう設計でこの金額でやれるということで現在に至っています。

結局、あのときエアコンも暖房も要らないと言った町長の答弁はどこに行ったのかという私の疑念があります、どこまでも。そのことを踏まえて、予算ありきで物事を進めてもらっては困ると。予算は予算、その中で最善のものを選択する、協議する、我々と一緒になっていいものをつくっていくという姿勢を示していただきたいと。心の根っこにあのとき私が言ったじゃないですかという気持ちをずっと持っています、体育館にお金かける都度都度。当初に言ったとおり、体育館という名称で建てるのであれば15億円必要ですよという当時の私の言葉を思い出して、予算編成なり事業計画を進めていただきたいと思います。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） ありがとうございます。と言いながら、最近、昔のことをだんだん忘れてきて、逃げるわけではないけれども。ただ、太田議員、前も1回話したんだけれども、あれから十数年という年月がたって、あの頃の答えまで私の言い訳になってしまうんだごって、あの頃はまだ涼しかった、二股地区もどこも暑さとか感じなかった中で、あそこに入れたのが床暖、暖房にだけ手をつけた。ただ、エアコンについては一切触れなかった。今となって十数年たった中で、この二、三年の暑さもあって、太田議員からその当時のことを話されて、思い出しながらいるんですが、なかなか思い出せないでいるんだけれども、そういう中で、これからはきちんと議員とも相談しながら、予

算ありきでなくて、皆さんと一体となって事業を進めていきたいと思っています。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今の空調設備なんですけれども、ほとんど太田議員が言っちゃって、私はあまり言うことがないんですけれども、町長が我々議員を町長室に呼んで話した経緯は分かります。確かに分かります。ただ、町長室での話というのは、聞いた、聞かない、言わない、言った、これだけになってしまうんですよ。私は、その後てっきり全協で予算を含めて話があると思ったんですよ。それがいきなり、ずっと後に全協で1億2,300万円ですか、予算書に上げているんですよ。これってあり得ないですよ。全協の中できちんと議事録に残るような場所でやるのが筋なんですけれども、いきなり予算にのっけてきて、はい、これやりますからと。誰もこれは、本当に頭に来ているんです、私は。絶対こういうやり方は、何でもそうなんですけれども、今回の議会は何かそういうのが増えていますね。

私が一番聞きたいのは、3パターンあると言っていましたよね。見積りは3パターンもらったと思うんです。見積りというのは、しかも1億3,000万円とかそういう莫大な予算のときは、1つにつき二、三社に必ず見積り依頼するんですよ。1社から取った見積り、これは通用しません、今の世の中、どこでも。個人でもそうですよ。個人でも必ず2社、安いほうをたたいて、それで工事を発注するんですよ。多分1社だと思うんですよ。1社では駄目なんです、見積りは。ただし、この見積りはガスの空調ですよ。まずガスの空調を想定して、それを同じ条件で2社3社に見積り依頼を出さないと本当の見積りは出てこない。この3パターンは1つずつの見積りだと思います。私は、町長から言われて見積りをもらっているんですけれども、まだ来ない。それだけ難しいんです、見積りは。あっちこっちから寄せ集めて計算するので、見積りはなかなか出てこないんです。まだ1個も出てきません。多分この金額以下にはなると思うんですよ。だから、3社からもらって見積り合わせをすればいいんですよ。1社だとやりたい放題です。これは駄目ですよ、この1億2,388万円。さっきも言ったように、こういう予算をのせるんだったら議事録に残るような場でやってほしい。まずこれが一つです。

あと、同じ欄なんですけれども、空調設備に対する委託料657万6,000円、これは異常に高くないですか。この委託、中身、内容が分かっていたら、いや、内容は出てこないんです、委託料ね。出てこないんですよ。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） この委託料657万6,000円、これについては工事の設計の分と監理業務の分の2つ入っていますので、それで600何万円という形でおります。

ただ、小倉議員が言った見積り3社という話だったんだけど、私のやり方が間違っていたのか、私が皆さんに説明して、1億円ぐらいかかるよ、1億何ぼかかるよと話したときに、3社4社の見積りを取るというイメージがなかったので、1社からもらったものをベースとしながら3パターンで出しています。小倉議員がおっしゃった、いろいろな業者の見積りをもたらっているような話なので、皆さんのデータも集めながら、皆さんとしっかり、どれがいいか、どういうやり方がいいのか議論しながらやっていきたいと思っています。小倉議員が言ったように、この金額よりも下がるというのは、私も気持的に下がればいいなという思いもありますし、そういう中で1億2,000万円幾らが下がっていくことを期待しながら、これから小倉議員がお願いしている見積りももらいながらやって、いろいろ皆さんと意見交換し、前に向かっていきたいと思っていましたので、よろしくご指導方お願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 見積りは1週間以内に多分できるものと私は思っています。

ただ、この委託料ですね、工事に対しての委託料、管理料というのは、私は分かりませんが、ガスの空調設備に対して見積りをもろう際に、電気屋の見積り、ガス屋の見積り、配管屋、この見積りがあるものに対して、この委託は何の委託なんですか。その辺分からないんですけども、分かりません、これ。工事もしない設計業者に委託料657万円というのはちょっと信じられないんですよ。私もほかのところに聞いてみますけれども、異常に高過ぎると思うんですよ、657万6,000円。監理は私は分かりませんが、まあいいです。これは後でまた質問するとして、質問を変えます。

ここの体育館の温度、昨年度に何か調査したと思うんですけども、この体育館の6月頃から9月頃まで4か月分、平均でいいですから、調査したはずですので、平均温度を教えてくださいませんか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 9月議会のときも本間議員に温度の話をされまして、総合体育館での温度は計測されていませんでしたので、今別町の観測地の気温を。（「体育館の中の温度」の声あり）体育館の温度は記録がないので、ありません。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君）　そういう記録も取っていないのに、体育館の中の暑さも分からないのに空調設備を必要とする、その意味が出てこないんですよ、その意味が。中の気温を調べて十分統計を取っておかないと、暑いので網戸の設置もしたと思うんですよ。その時点で気温を調べるべきでしょう。

課長が口を滑らせてしまったので、ガスの空調は、私は随分調べてみたんです。このメリット・デメリットを調べてみました。ガスの空調のメリットは、急速に冷やす、急速に暖かくする、これしかないんです。初期冷房、初期暖房、これには最適です。デメリットは、これがすごいんですよ、電気式に比べて、町長、よく聞いてください、デメリットとして、電気式に比べ本体価格が高い、まずこれが1つ。ガスの配管工事にも必要となるため、設置コストがかさむ。ガスエンジンを使用するため、車のような点検が日常的に必要です。次に、室外機が大型で、エンジン駆動による振動音が発生しやすく、静かな場所には設置が不向きです。ガス代は社会情勢により電気式よりもランニングコストが高くなるケースがある。今、イランとアメリカが戦争していますけれども、ガス代とかガソリン代、どのくらい上がるか予測つかない状況です。ランニングコストがすごくかかると思います。寒冷地、いわゆる今別町ですね、寒冷地ではエネルギー消費率が低下する可能性がある。電気と比べてあまりにも維持管理費がかかり過ぎます、ガスの空調。これを年間にとすると電気よりも倍以上の維持管理費がかかると。今別町は寒冷地なので、暖房はそんなにかからないと思います、ランニングコストは。ただ、夏はすごくかかると言われています。実際そうなんでしょうね。

話を戻すんですけども、体育館の温度を調べないで、ただ暑い、何度かと聞かれて出てこないというのは変だと思うんですよ。このくらい30度40度になるんだよというデータも出さないで、エアコン、空調設備を整備するというのは私は変だと思うんですよ。もしこれを考えるんだったら、先に、小学校の体育館もあるんですよ、中学校の体育館もありますよ、子供たちはもっと暑いですよ、先にそっちを考えるべきなんですよ。室内の温度も測らず、網戸をやったぐらいでしょう、多分、私はこれが腑に落ちないんですよけれどもね。とにかくランニングコストがガスの空調設備にはかかり過ぎる、そういうデータも出ていますので、ガスにこだわる理由、町長、びゅっと出たあれですから。

○議長（本郷良克君）　町長。

○町長（阿部義治君）　小倉議員の言ったガスのメリット・デメリットが出ました。電気に関しても話していました。私が持っている、後で議員の皆さんに見せますけれども、

ガスのメリットと電気のデメリットは、私が集めた資料では電気のほうが工事費も高い。電気であればキュービクルも必要になってくる、それに莫大な経費がかかるということもあって、さっき参考までに言ったトータルで一番高いほうの電気で1億8,000万円ぐらいの見積りをもらった中でガスが1億3,000万円ぐらいですので、その辺をやりながら、小倉議員の言ったメリット・デメリットも考えながら、あと1週間ぐらいすれば小倉議員がもらう見積り等を見ていただいて、何もガスにこだわってないんですよ。とにかく工事がよくて、体育館の中で冷房が効いて、冬になれば暖房が効く、そういう形になればいいんであって、何もガスにこだわっているわけではない。ただ、私のもらった見積りはガスが安かっただけであって、小倉議員が話したようにガスよりも電気のほうがうんと安ければそれにこしたことはないということで、設備によってコストが高くなっているのと、私はガスだったら安いという見積りをもらっていたところで、その辺はまたいろいろ見積りをもらいながら皆さんで検討していただければと思います。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） その辺は分かります。分かったんですけども、ただ、全協のときにも言いましたけれども、体育館施設は、基本、スポーツ選手とか競技する選手とか汗をかく場所なんですよ。それを無理して、体を温めに来たのに急激な冷房で冷やす必要ないんですよ。四、五度だけ下げてもらえればそれでいいと私は言っているんです。四、五度ですよ。30度だったら25度にします。最適なんですよ。電気式にしても、朝早めに電気を入れれば十分冷えますよ、体育館でも、多分ね、容量によって違うでしょうけれども。そういうのも考えて、体育館というのは汗をかく場所なんですよ。それを無理して、そんな高い、本当に高いか見積りが出てこないと分かりませんが、その辺も考えながら、町長はみんなと話し合いながらと言ったので、それはそれとして、とにかくそういうのは覚えていてほしい。急激な冷房は私は要らないと思います。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） この間の全協の中で小倉議員が2度3度下がればいざばという話をしたので、当然そうだと思います。ただ、本間闘士議員もいるんですけども、暑い中で体育館でいろいろ子供たちもやっている中で、特に本間議員は汗っかきなので、黙っていても汗をかく人なんだけれども、夏場の体育館の温度を測ってないのは、議員には失礼なんだけれども、我々が体育館でスポーツをやるときに夏場の暑さというのは大変暑い。最初は窓を開けていたんですけども、アブが入ってきて大変な状況になった

ということで、この間大会もやったし、議員の皆さんも健康セミナーをやって十分暑さは分かっていると思いますので、これから皆さんとかんかんがくがく意見交換しながら、様々なデータを持って皆さんと話しして、安くいいものをつくれるようにできればいいと思っていますので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） そのとおりです。安くいいものをつくれたらそれでいいですよ。何も高い1億何ぼもするものをつける必要は私はないと思うので、その辺、これから話合いで解決すると思うので、本間闘士議員は暑かったら隣の会議室は冷房が効いていますから、トレーニング室も冷房が効いていますから、その辺に行って体を冷やすようにお願いしたいと思います。子供たちも暑かったら、隣に会議室がありますから、会議室で体を冷やすようにして、倒れないようにしていただきたいと思います。

議長、続けていいですか。

○議長（本郷良克君） はい。

○6番（小倉潤二君） まず宿泊施設です。大雪で軒天プラス軒先が破損している状態なんです。これはご存じですよ。確かに今年の雪は大雪で、雪が多かったのは確かなんですけれども、私は気になって、宿泊施設を4回5回、今日で5回目です。5回ほど行ったんですが、軒天の軒の長さ、建物から出た分、軒の長さが1メートルあるんですよ。幅が24メートル50、まず25メートル、これって私は何ぼ見ても設計ミスだと思っているんですよ。プラス屋根の勾配、これが2%、桃源のこれから始まる工事、けいたん館、あれとよく似ています。けいたん館によく似ているんですよ。あれでは雪が落ちない。無理です。ということは設計の段階で、昨日、太田議員は新雪の積雪1メートルを予想してあの設計をしたと言ったんですけれども、1メートルだったらもつんですよ。ただし、その1メートルというのは新雪ですよ。これが圧雪して1メートルになったら倍以上の雪の重さになっちゃうんですよ。皆さんもご存じかと思いますが、ここはガルバリウムの長尺になっているんです。その長尺には欠点があるんですよ。長尺と長尺が重なる部分、立ち上がりの部分から水が入っていくという欠点があります。これは民家でも同じです。傾斜が弱いほど水が入りやすい、だから雨漏りする。軒天が長ければ雨漏りに気づきにくい、外に雨漏りするのです。

この体育館は今年で7回目の冬を迎えているんですよ。ということは、当初から、初めから雨漏りがしていたはずなんです。そうでないとあななりません。私は業者を

呼んで見てもらったんですけども、「ああ、これ最初からいってる」と。要は軒先が先に凍ってくるんですよ。軒先から氷が積み重なって積み重なって、中の宿泊施設の暖房の暑さで氷が解け始める。軒先の氷が解けないで、トタンの上で水たまりになってしまいうんですよ。その水たまりが駄目なんです。長尺の合わせ目から水が入って、中のものが全部腐っていくんです。皆さんも覚えておいたほうがいいですよ。民間のうちもそうなんです。雨漏りの原因がこれです。氷が張っている部分では……。

○議長（本郷良克君） 小倉議員、もっと明快に。

○6番（小倉潤二君） これで説明は終わるので、それが原因なので、さっき言った軒天の長さや幅と屋根の勾配、これが原因なんです。雪が落ちない、凍ってしまう、水が入る、7年間でその繰り返しなので、中のものが腐っているんです、あれをほごしたら、私が手をかけることはできないので、手をかけませんでしたけれども。

もう一つは、あの24メートル50の長さの軒天を支えることはできません。ということは柱が必要なんです、軒天の中間、中間、中間、3点ぐらいで。それさえもしてないので、私が何を言いたいかというと、設計ミスによる調査、これを依頼してほしい。ただし、あの体育館を設計した業者でなくて、違う業者でないと正確なものはないと思うので、町の経費を使って直すんだったらまた何百万円もかかるんですよ。じゃなくて、別の会社に調査していただきたい。総務課長、いかがですか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 逆質問になるけれども、何の設計。

○6番（小倉潤二君） 屋根の勾配と軒天の長さや軒天の幅、それが今の二股地区の積雪1メートル、2メートルを想定した建物なのか、それを調査していただきたい。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 調査委託ですね、今言ったやつ、調査委託。分かりました。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） [マイクなし不明]

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） 133ページです。農業移住新規就農サポート事業負担金、これを詳しく説明をお願いします。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 東青地域連携の事業になっておりまして、スマー

ト農業とかそういったところ、また新規就農者、移住定住に絡む部分もあるんですけども、青森市が中心になっているものなんですけれども、青森県連携中枢都市圏の負担金の一つとなっています。（「分かりました。続けてよろしいですか」の声あり）

○議長（本郷良克君） 暫時休憩します。50分から再開いたします。

午後2時 分 休 憩

午後2時 分 再 開

○議長（本郷良克君） 会議を再開します。

太田議員。

○4番（太田英一君） 休憩の前に遡りまして、体育館のことで補足で要望があります、町長に。

現体育館の屋根というか、天井にダクトを配置していますよね、当初から。確認取っていませんか。ダクトがあるんですよ。あのダクトは将来的に冷暖房に活用できるということで当初つけたダクトなので、それを有効利用した冷暖房設備を考えて実施していただきたいと、それを補足的に要望しておきます。よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 分かりました。これから会議をやっていく中で太田議員も忘れてないでしゃべってください。お願いします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 質問の内容をまるっきり変えて予算書に移ります。

47ページ、総務管理費の人件費等についてお尋ねします。

昨年来、私は職員の数とか職員の給料の見方とかについて質問を何回かしていますけれども、この当初予算は休職等々の職員の給料を含んだ予算計上なのか、それとも、前の議会では人員の状況に即した内容にするという話だったので、そういう職員の給料は省かれて計上されているのか確認します。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 休職とか療養休暇は、一応まだ職員ですので、そこは含まれております。前回の3月定例会で太田議員からご指摘ありました、それらを含めて考慮した人員、今回はシステムが間に合わなくて、できなかったんです、実際やってみたら。ですので、人数は、太田議員は決まればとおっしゃいますけれども、どう

いう配置になっているか、ただ人員の予算は、休職等を考慮して、例えばそこに人を置くとか1人増にするとか、そういう形で今回予算を組んだところでございます。休職とか療養休暇は考慮して異動しているところでございます。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 確かに当初から復職が困難な職員であっても給料的なものについては基本的に見なければならぬというのは重々承知しているんですけども、予算措置をする上で財源不足等々が発生し得る、要するに1人の職員で500万円、600万円という金額が動くと思うので、その点について、今後、定例会の都度、報告みたいな形でしていただきたいなと思います。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 昨日も太田議員からありましたけれども、休職者、療養休暇の職員からは医師の診断書等はきちんと受けております。療養期間を承認するというのもちゃんと通知しております。また、その療養期間、一定の期間、180日を超えたりとか3年間といったところもきちんと適正に、土日を除いた180日間とかそういうのはきちんと適正に処理しておりますので、そういったのも含めて、現状で休業している職員に関しては休業を考慮しながら今回やっておりますので、前の3月定例会で太田議員から指摘あった分は考慮されているものと存じております。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 分かりました。

次に、9月定例会で聞いたことなんですけれども、財産管理に関して、どういう管理の仕方をしているんですかということで質問して、混雑した管理の仕方でも今現状進めていると。それは財産管理上、好ましくないんじゃないかということで質問したら、総務課長から、財産管理に関して目等を設けて、明確な管理の方向性を考えている旨、答弁がありましたので、予算書の53ページに財産管理費1,421万1,000円が載っているんですけども、この1,400万円というのは職員が業務をする上で必要なお金なのか、財産管理をする上で業者に委託するための予算措置なのか、その辺の用途について定まっているのであれば教えていただきたいと思います。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 1,421万円なんですけれども、予算書を見ていただきたいんですが、その下からの括弧の足し上げが1,421万1,000円となっております。

財産の管理といいますか、そのほか庁舎の管理とかそういった部分も全て含まれているものでして、太田議員がおっしゃる土地とかそういったものに特化した予算ではなくて、庁舎の管理または公共施設の管理とか、もろもろの管理費となっております。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 特定財産管理に関して条例の制定等があったので、予算を提出するのであれば条例に即した予算措置をするのが通常だと思って、そういう予算措置がされているのかなと思ったんですけれども、聞く限りでは従来どおりの管理の仕方ということで、何のために条例制定したのか、先日指摘した財産管理についてはもっと厳密にきちんと対応していかなければならないということを行ったはずなんですけれども、今後、人員が不足するのであれば、期間雇用の例えば測量技術を持った人とか財産管理の経験がある人とか、そういう方の任用とかも考えていく時期になっているんじゃないかと思うんですけれども、町長の裁量になると思うので、町長のお考えをお聞きします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 確かに、いいご指摘なんですけれども、今の職員の人数の中で当然兼務という形になるだけけれども、そういう形に持っていけるように努力してまいりますので、単独の財産管理は難しいと思います。そういう中で、これから職員の配置状況も考えていきます。機会あったらまたアドバイスを下さい。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 先日、町長は、若いときは消火栓の位置を書いた図面とかなんとか昔はあったよと、今はどうなっているのか分からないという話をしました。なぜそうなったのかというのを、町長、反省してください。我々も反省しなければいけませんけれども、実質業務を遂行している方々が、これは10年使わなかったから要らない、これは3年使わなかったから要らないと、業務に必要な要するに財産ですよ、知的財産、そういうものを埋もれさせてしまったり廃棄させてしまったりというのがないようにしていただきたい。

大変古い話で申し訳ないですけれども、国土調査の実施率が85%になった時点で旧図面を廃棄してもいいというのが国土調査法で定められていて、古い図面を廃棄した職員が当時いました。それは、廃棄していいのは国調に準ずる図面を廃棄してもいいのであって、昔の江戸時代からつながる俗にいう絵図面、それは廃棄してはならないというのが原理原則だったんですよ。ところが、今別町ではその絵図面を廃棄してしまった。例

えば、二代、三代前に今別から町外に移った人が今別に戻ってきた。先祖代々の土地がここにあったはずだと。ところが、国土調査実施時に今別町に在住してなかったので、消去されてしまっていた。法務局に行ったら「そこまで言うんだったら絵図面を持ってきなさい」と言われたそうです。役場に「絵図面を下さい」と来たんです。なかったんですよ。といういろいろな支障が出るんです。ですから、財産管理については真剣に対応していただきたいと切にお願いします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 古い歴史からありがとうございます。

昨日、話した消火栓なり防火水槽なり、それからガードレールでなくて、カーブミラーも含めて財産管理を議会が終わってから総務と詰めたいと思っていますので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） 187ページです。個別避難計画作成委託料であります。

資料で配られた一般会計における重点事項一覧の事業名及び事業概要を見ると、避難行動要支援者名簿に登録されている対象者、要介護3以上、身体障害者1級以上、知的障害、精神障害、難病患者、75歳以上のみ世帯の全員分の避難所等への避難方法等を決める個別避難計画を策定するものと記載されていますが、身体障害者1級以上というのは、私も身体障害者で、僕の場合は3級です。3級ですけれども、昨日は3.11から15年でありました。3.11のときに僕は福島にいました。新幹線に乗っていました。2日間、避難所にいました。そういう経験をした中で、まだ策定する前なので申し上げたいんですけれども、身体障害者1級というのは、3級の僕ですら、避難しろ、走れと言われても走れないんですよ。1級と特定するのはどうかなと思うんですけれども、その辺、考えはどうですか。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○参事・町民福祉課長（山崎真直君） 個別避難計画につきましては、大まかに身体障害者1級とか75歳以上とか設定しておりますけれども、実際に避難が困難な方の全てを対象といたしますので、そこは1級ということにこだわっておりません。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） この書き方ですね。僕が見ていて、1級以上なら対象にならないと思って、避難して、走れとしゃべられても走れないとなったときに、対象外にな

っちゃうなと感じたんですよ。この書き方ですね、資料として配るのであれば、例えば身体障害、例えば重度の障害者とか、軽度の障害者でも歩行困難な方などの文言があってもいいのかなと思うんですけども、その辺の考慮をお願いしたいなと思います。

あえて逆に、この策定をするときに、例えば町内にいる障害者に声をかけて、どういところが不便なのかとか確認しながら策定していったほうがよりよいものがつくれるんじゃないかと思うんですけども、どうでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） ただいま山崎参事からありましたけれども、個別避難計画というのはこちらから計画をお願いするのではなく、田中議員がおっしゃられたとおり、自分は避難できない、困難だという人が、登録ではないんですけども、計画をつくっていただいて、いざ避難しなければならないとき、ここにあるんですけども、こういった形のものがあります、これが計画になるんですけども、これを見て、この人はどう避難すればいいのかとか、そういったものを個別に、個々に策定するものが個別避難計画です。自分は逃げられないとかじゃなくて、自分は逃げられないからこうしてほしいというのがあるので、そこに関しては、先ほど言いましたけれども、この人だと特定するわけではなくて、個々に一人一人ヒアリングを行いながら個別の避難計画になっていきますので、そこは議員おっしゃるとおり、必ずこうだというわけではなくて、そこはこれから策定に当たって進めてまいりたいと思います。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） ありがとうございます。

僕が3.11のときに避難した場所は小学校でした。そこに2日間いたんですけども、自分のうちでもないし、小学校の避難所だったので、僕ら障害者というのは災害を想定してなかったんで、例えば僕は義足の歩行者ですけども、いざ避難所に入って、あの揺れで2日間寝られなかったんですけども、自分の体の疲労が限界に来て義足を外しちゃったんですよ。余震が何回もあって、何回も避難しろ避難しろと言われて、そのたびに、当時はまだ現役でしたので、けんけんでグラウンドに出たりしていました。

そういうことも考えられるので、例えば避難所になったところに車椅子があるとか、つえがあるとか、そういうのが用意されてあることによって障害者の心が安らぐのかなと思いますので、いろいろな想定を考えて策定してほしいと思います。

続けて、関連なんでよろしいですか。

○議長（本郷良克君） はい。

○5番（田中哲也君） 次のページです。

これも重点事業一覧表に出ています。防災備蓄倉庫設置工事と、それに入れる防災備蓄用品だと思うんですけれども、避難所で使用するための防災備品等を導入する、併せて倉庫を設置し、各地区個別に備蓄用品を配備できるよう整備するという事は、各地区に倉庫を建てるということですか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 今回予算計上したところは、海岸沿いを想定してのもので、補助申請に当たっては8か所、奥平部、袈月、大泊、山崎とか、海と言いましたけれども、海ではない鍋田、関口等も想定しております。というのも、袈月は海岸沿いの第二拠点ということで、既に段ボールベッドとかを入れるプレハブを置いていますけれども、それだけじゃ足りないというのもあって、そこに1つと、あと個別に置くのは、各集会所、会館等に、下の備品と関連するんですけれども、簡易ベッドとかパーテーションとかそういった大きいものが配備されておきませんので、そういったものを入れるための倉庫を整備したいということで今回予算を計上させていただきました。今別町の全てにおいて会館とか集会所に水を置いたりとか物をいろいろ配備しているんですけれども、そうじゃなくて、ちゃんとした災害時の備蓄品倉庫という形でこれから整備したくて、海岸沿い、奥平部、袈月とか大泊、山崎とか、あと鍋田、関口等を考えながら、町有地になると思うんですけれども、整備したいと考えております。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） ありがとうございます。

倉庫ということなんですけれども、災害に使う備蓄品を倉庫にしまう、中の空調管理とかきちっとしていかないと、例えば段ボールベッドをいざ使いたいときにかびが生えちゃって使えないとか、そういうことも多々あると思うんですね。なので、倉庫を設置するのであれば、空調設備だったり換気のいいものだったり、せっかくやるのであればそういうものをつくってほしいなと思います。

今は8か所と答弁していると思うんですが、これを徐々に全町全地区に拡大することは考えていますか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 確認しながらになるんですけれども、役場近辺と

か総合体育館、二股、大川平辺りのカバーできる部分に関しては職員が行ったりとか、スピード感を考えたときには遠いところからの整備になると思います。その周辺地区に関しては、全部で17地区あるんですけれども、公民館周辺とかについては本部の役場があるので、そういったところには配備を考えておりません。遠い場所とか、特に海岸沿いですね、そこに関しては強化していかなければならないと、大雨のときに一時孤立したことがありますので、その辺については強化していかなければということで考えておりましたので、全町というわけではなく、限られた場所になると思います。（「分かりました。ありがとうございます」の声あり）

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） あと、すいません、補足です。先ほど段ボールベッドと言いましたけれども、簡易ベッドです。よくキャンプとかで使う低いベッドですね、組立て式のあれを想定しております。

そのほかの備品といたしましては、先ほどの体育館のスポットクーラーという話は、あくまでも避難所として体育館に行ったとき、暑いんじゃないかということで、私は持ち運び可能なスポットクーラーと答弁したと思うんですけれども、そういったのもあったので、今回スポットクーラーも補助金を使った備品で整備するというで考えておりました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 昨日、繰越明許のときも私はお話したんですけれども、当初予算での備品購入費の記載の仕方、昨日も言ったんですけれども、当初予算の中では16か所に備品購入費があります。その中で何をかうのか全然分からないところが5か所あります。その5か所の中の1か所、ふれあい文庫の図書購入費とあります。それは分かります。あとの4か所について尋ねたいと思います。

最初に、田中議員がおっしゃった備品、189ページの防災備蓄用品購入費、参事から説明があったんですけれども、1,309万円の備品購入費を除いて詳細が何も分からない。これは、私はちょっと考えられないですね。幾ら項目が多くても、買う商品名とか、スポットクーラーとかあったんですけれども、それを何基買って幾らなのか、きっちり明確に載せるべきだと考えています。分かるのであれば今教えていただければ。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 昨日のご指摘は、そのまま予算書に載っております。

した。まずスポットクーラーです、10基。先ほど言いました簡易ベッド、組立式簡易ベッドが170基、あとパーテーションですね、仕切りが必要ということで、よく避難所で言われておりますけれども、それが85基、あと投光器ですけれども6基、こちらの備品の予定になっております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 分かりました。分かっているのであれば、クーラー10基で幾ら、ベッド170基で幾らということで、きっちり備品については詳細を、数が多くても少なくとも詳細を載せるべきだと思います。

あと、これは小学校ですね、205ページ、小学校維持管理備品購入、何をかうんですかね。これだって全然、このまま明許繰越に名前を入れているんですよ、8万7,000円。これだと分からないので、もし、「もし」という言葉は駄目ですね、買う必要がある備品なのでこれに載せていると思うので、もし教育委員会で備品の中身を分かっていたら教えていただければ。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 小学校維持管理備品購入費です。紅白の幕が4枚で14万5,200円、ピアノの移動用キャスターの台車が4万7,300円です。AED収容ボックスが3万5,000円、ロッカーが10万7,800円、トータル33万5,300円で33万6,000円を計上させていただきました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） ロッカーはどのように使うロッカーなんですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） これは先生方が使うロッカーです。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） ロッカー1個で先生方が全員使えるんですか。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） これは女子職員の更衣室に置くロッカーで、今まで使っていたものがさびてしまって、新しいものに替えてほしいという要望があったので、今回購入したいということで予算計上いたしました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 次に、213ページ、教育費3項中学校費ですね。これもまた同じ

なんですね。中学校維持管理用備品購入費、これも備品を買うのを分かっているのに、載せるべきですよ、備品の場合は。これも何を買うか教えていただけますか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） これは、ピアノカバー 2万3,100円、生徒用の机20台、1万4,500円が20台ですので29万円、生徒用の椅子20台、1台8,000円で16万円、CDポータブルシステムが3万140円、ワイヤレスマイクのハンド型1本5万6,500円を2本買うので11万3,300円、ワイヤレスマイクのピン型1個6万4,570円、合計68万1,110円になります。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 先ほども言いましたけれども、（マイクなし不明）

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 綿谷議員、確認ですけれども、この予算を今みたいに分けるというのは、補正とかで組み替える、（発言あり）それはよろしいですか。分かりました。システム上、登録するとか入力すれば出てくるものなので、そこは対応してまいります。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 177ページ、土木費、ファブリダムですね、二股・大川平間の風船ゴムのダムですよね。これは確認なんですけれども、引継ぎして分かっていると思うんですけれども、3年半前の大雨で、このダムは流木が突き刺さって1回機能しなくなったときがありましたよね。このダムは、メーカーの話ですと、当時、3年半前ですから、もうそろそろこのダムは限界なんです。ゴムの寿命がないんですよ。この辺知っておいてほしいんですけれども、これは知っていましたか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） すいません、寿命だという話まで私は聞いておりませんでした。壊れたほうに関しては県で事業化されて、来年度から交換が始まるんですけれども、既存のものが寿命ということまでは、すいません、私は存じ上げませんでした。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 交換の予定があるということでよろしいですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 既存のところに関しての交換ではなくて、1か所壊れて

いるほうが先に新しくなる、既存の入替えとかの計画は今のところまだないです。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今後の水利は、用水路なんですけれども、この水がなくなると、大川平地区、そのほかにも影響あると思うんですよ。消防の水利にもつながってくるんですけれども、これは今から考えておいたほうがいいと私は思います。当時の3年半前の話ですと、もってあと四、五年、うまくいったら6年もつかなどか、難しいような顔をしていたので、下流側も同じです。あれは同じ時期にできたファブリダムですから、両方とも寿命に近い状態にあるので、必要な水利ですから、海岸方面には水利がありませんから、私は大川平方面の議員でないですから、昨日のあれと同じですけれども、ひがみです。ファブリダムのゴムは寿命なので、ぜひ検討しておいてほしい。近々寿命終わりですので、これを伝えておきます。

あともう一つ、寿命なのは前の担当の人が覚えているはずなんですよ。その引継ぎもうまくやってほしいと思います。よろしく願います。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 県管轄になるので、県にその辺は確認しますけれども、それを確認した上でどうするかは今後の検討になるかと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 49ページなんですけれども、報償費、ふるさと納税謝礼報償品費がありますけれども、ふるさと納税をいっぱいしていただくような商品を全国的に開発していると思います。今別町も返礼品の開発を進めながらやっていく必要があると思います。また、商工業振興費の中で開発補助として200万円予算計上しているんですけれども、町として、例えばどこかの企業と提携を結んで町の特産品を作るとか、そういう形にしていかないと今後ふるさと納税を国民からいっぱいしていただくことが難しくなるんじゃないかなと私は思います。例えば今別から関東、関西に出かけた人が、ふるさと納税で何か食べたい、例えば今別のウニが食べたい、殻のウニを食べたいとなるとその時期にふるさと納税するわけですよ。ただ、私が一般質問で言ったとおり、今はウニとかモズク、全く取れないというわけじゃないですけれども、ふるさと納税に使うだけの量ができないということもあるので、ぜひともどこかの企業とか、うちほうには大きな養殖業者もいますので、6次産業でサーモンを使って何か加工する、ふるさと納税のいろいろな返礼品の開発を進めていただきたいと私は考えていますけれども、町長、

どうですか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） ありがとうございます。

ふるさと納税が始まったあたりは、今別はサーモンでなくて、ウニとかそういう関係が一番売れて、皆さん納税してくれました。私は、オカムラ食品のサーモン、オカムラの社長とこの間話しして、何とか今別で商品として売り出せるもの、今のサーモンの半身だけじゃなくて、もっと商品化したものを作っていたきたいということもお話したので、そういう話をしながら品数を幾らかでも増やすような形をこれからお願いしていきたいと思っています。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 先日、町長と一緒に知内町のカキニラまつりに参加させていただいたんですけども、サケ、サーモンのカマを特別1箱1,000円で売ったらすぐ売り切れたんですね。調理の段階で出る例えば頭の付近、えらの付近とか、その冷凍がばか売れなんですよね。物すごかったです、今別牛の牛串のちょうど隣にサーモンがあって。ああいうところが、ふだん私たちが食べないようなところが売れるんですね。なので、日本サーモンも含めてそういう企業と提携を組んで今別の特産品の開発というのは大事だと思うので、町長にはぜひともそういう形で特産品を作って今別町を盛り上げていただきたいと考えていますので、町長、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 去年の10月、知内とうちの35周年の交流、議長と一緒に知内に行って交流をやってきました。そのときに、この間、うちの牛串の隣にあったサンコー食品の若い社長と私の席で一杯飲んだんですが、お互いにサーモンが始まったし、サーモンでお互いに商品づくりやっぺいこうやという話もしたので、それがいいきっかけになっていくと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 簡単な質問です。145ページ、一番下段です。町有林管理造成費334万円、この場所と利用する目的、お願いします。（発言あり）失礼しました。すみません、間違えました。

それでは、167ページ、浜名ストックヤード、12節ですか、浜名ストックヤード測量業務、これはどういう測量をするんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 今、町でというか、しゅんせつ土砂置場とかに使用している場所なんですけど、県で4月1日から盛土規制法の適用が始まるのを受けて、町の登録は必要ではないんですが、今後そこを活用していくために、実際にどれぐらいの容量があるのか含めてレーザー測量をする予定になっております。（発言あり）

盛土規制法を受けて、県からそこを今後の工事で使いたいという申入れがあったんですが、今しゅんせつ土砂が実際に入っております。そこは町有地なんですけれども、そこが実際に土をどれぐらい受け入れができるのか、面積、容積を含めて業者に委託してレーザー測量をすることになっております。ストックヤード容量を確保し次第、今置いているしゅんせつ土砂は浜名の埋立て工事が終われば出ていくことになっていきますので、その測量データを基に今後の盛土の正式な残土置場にするとかという計画を進めていくための準備の測量になります。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 分かりました。

今、役場の下からしゅんせつしている土砂がありますよね。あれは奥平部に運んでいるので、その運んだのを今度測量した浜名ストックヤードにまた移動する、それによろしいですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 今運んでいるものは、水産事務所に確認をしたら、冬場は置けなくなっているので向こうに持っていったんですけども、あっちに置いているやつは埋立てが始まるまではあそこに置いてあのままです。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） これは奥平部地区の人から言われているんですけども、これはずっと置きっ放しということはないですよ、今運んでいる土砂は。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 水産事務所からは、埋立てが始まれば運び出して、そこに埋めるということで聞いております。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 分かりました。

部落の人には何も言っていないそうなんです。こういうのは地元、あのダンプの量

ですから、何のために運んでいるのか分からない、どこから来たかも分からない。そういうのは地元の人と話して、ちゃんと置くんだよとかそういう連絡、それをしてほしいなと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 131ページ、農業総務費12節委託料、農道水路維持工事ほか設計業務委託料100万円とあるんですけれども、工事費がないのに設計だけを組むということなんですか。もし設計を組むのであれば、どここの設計業務委託料とか、そうならなければ駄目なんじゃないですか。昨日も言いましたけれども、繰越明許してどこをやるか全然分からない。それだと困るので、100万円も設計料が上がっているのに工事費がないというのはどういうことなのかお聞きします。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） こちらの委託料に関しては、どこをやるためということで取ったのではなくて、毎年雪解け後に破損箇所が出てくるので、それに備えての設計料100万円を計上したもので、どこに使うというものは決まってないものになります。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） そういうことを想定しているのであれば当然工事費も上がってこねば駄目なんじゃないですか、例えば工事費100万円とか。設計だけしても工事になれば工事はできないですよ。課長、どう思いますか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 綿谷議員のおっしゃるとおりだと思います。私は、取りあえず設計して、工事は補正になるのかなという頭で設計だけ計上しておりました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） きっちりした予算措置をしないと専決もできないですよ。災害が起きたから、急に道路、農道とか水路が大雨で崩れたと、そうすれば工事費が1,000円でもついていれば専決ですぐ設計して工事できるんですけれども、そういう予算処置を事務的に忘れるのであれば、ちょっとどうですかね。設計だけ組んで、災害のときの工事費は議会を待って補正しますとか、そういう事務的なものじゃなくて、関連したものをきっちりつけなければ駄目じゃないかなと思います。ここは次の6月補正で50万円でも幾らでもつけて、例えば予算措置するんだったら、全体の予算を変えないで、設計料を三角の50万円にして、やるところが決まってないのであれば、工事費を50万円にす

れば予算を動かさないでやれるわけですから、ぜひ機会があったら予算措置をしてください。以上です。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 135ページの開発センター入り口自動ドア修繕工事、これは何回修繕すれば正規に使えるようになるのでしょうか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 開発センターの自動ドアについては、こちらの資料では前回直したのが16年前ということになっているんですが、（「それは違う」の声あり）失礼しました。すいません。8年前に左正面の右側の自動ドアを直しております。その前が16年前に左側の自動ドアを直しております。最近では修繕記録として8年前、2017年の修理が最後になっています。

○議長（本郷良克君） 課長、それ違うよ。何回も直してんだよ。そのデータは違う。遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 私の手持ち資料では三、四年前の自動ドアの修理を見つけられなかったもので、調べる時間を下さい。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 修理すればいけないという話ではなくて、修理するのであれば根本的な修理を1回して、俗に言う10年だったら10年、15年だったら15年、誰か不慮の事故で壊したとかそういう場合は別ですけれども、これは自然劣化現象で修繕が度重なっているという認識を持っているので、開発センターができてから四十四、五年ぐらい、もっとたつか、と思うので、当時の自動ドアの技術、それからサイズとか現行と合わない部分もそろそろ出てきているんじゃないかと思うんですよ。なので、どうせやるのであれば、新しい基準の新しい自動ドアにやってしまうとか、あの開発センターは何億円かかっているか何十億円かかっているか分からないですよ、修繕とかなんとかかんとか。日本海中部地震で基礎が隆起して床暖房が使えなくなってどうのこうのとか、床暖房のボイラーがどうのこうのとか、トイレがどうのこうのとか、風呂場がどうのこうのとか、様々なところの維持修繕で莫大な金がかかっているんですよ。なので、どうせやるのであれば、いいものを、修繕じゃなくて、改修という形で1か所ずつ事業計画を組んでやるとかという方策を考えていただきたいんですけれども、町長、いかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 町長。

- 町長（阿部義治君） 太田議員が言ったのは分かります。450万円だか、工事費。向こうと私の意思疎通がないみたいで、自動ドアという言葉があるんだけど、手動に変えるための工事だと思っていたのさ、両サイド、手動。正面は自動で、両サイドが手動のタイプ、その辺、後で調べたのを回答するようにします。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 大事なことをお伝えし忘れていました。今回のドア交換は、自動ドアが劣化によって落下のおそれがあるという点検結果が出たので、自動ドアから自動ドアへの交換ではなくて、半自動ドア、手で開けなければ勝手に閉まるドアへの改修工事になります。（「分かりました」の声あり）
- 議長（本郷良克君） 小倉議員。
- 6番（小倉潤二君） 先ほどのファブリダム、これは補足です。寿命がないというのは確実なんで、早めにやっておかないと、県のほうに、もし県のほうだったらね。いつやられるか知りませんので、そういうのはまた、何というの、倍も金かかることになるので、早めに、これだけお願いしております。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） 137ページ、放牧場及び飼育管理業務委託、これは今までずっと農協に委託してきたお金だと思うんですけども、この期間、500万円を使った期間、人数をお願いします。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 従事の人数までは控えてないんですが、期間については例年4月から10月末までになっております。人数に関しては、後ほど資料を準備して、実績値をお見せするようにします。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） この委託料は、様々な経緯があって、行政と農協が一時もめて、山崎の避難舎の管理と町の牛を委託するとかどうとか、そういう絡みがあって、様々な経緯があって、廃止したほうがいいんじゃないかという話もたしかあったはずですが、町長は記憶しているかどうか分かりませんが。半分の期間は役場の雇用人員、半分の期間は農協の雇用人員という不明瞭な雇用体系で、6か月間は本来であれば農協の業務をしてはならないというのが本筋だと思います。委託契約の中で1日6時間とか8時間とかという制約があるはずなんですよね。その他の業務を本来はやれないはずなんで

すけれども、様々な経緯があって、いろいろ陰口を皆たたかれて、行政側もたたかれるし、農協側もたたかれるという経緯があるので、そろそろ町が単独で頼むなり、農協単独で依頼するなりとか、体系の変更を考える時期じゃないかと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 今の件、前も私はそれを言われました、町が直で。最初は1,000万円で動いた事業なんです。そして、今言ったように牧場を農協6か月、役場6か月という形で1,000万円に来て、今現在は削って削って500万円にして、プラス修繕料50万円をつけている状態です。それについて、去年あたりから、人を町の嘱託職員みたいにして任用してやったほうが良いという話が言われておりました。それも含めて、令和8年度はこういう形で設けますけれども、そういうのも考えていましたので。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） はっきりしないと、雇用期間中の事故、災害等で誰が責任を負うのか、どういう弁償方法があるのかということも、災害が多く発生する期間に入ってきているので、メンテナンス的なことも考えて、将来、町に損害賠償が来るとか来ないとかという話にならないように、今後は明確な雇用体系、明確な委託業務という形を取っていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○議長（本郷良克君） 皆さんにお諮りいたします。会議時間は、今別町議会規則第9条の規定により午前10時より午後4時までとなっております。もうすぐ時間となりますので、本日の会議は議事の都合によりあらかじめこれを延長したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（本郷良克君） 異議なしと認めます。本日の時間は延長することに決定いたしました。

暫時休憩して、午後4時から再開します。

午後3時55分 休 憩

午後4時 5分 再 開

○議長（本郷良克君） 再開いたします。

小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 教育長にお願いがあります。

現在、中学校のグラウンド、玄関から出て左側のグラウンドの立ち木なんですけれども、七、八本の立ち木があります。あんなに大きくしてしまったら、風が吹いたとき、生徒にも危ないし、危険な大木になっていますので、切ってほしいんですよ。切る前に植樹してほしい。根づいたら今立っている立ち木を伐採する、その段取りをしてほしいんですけども、危ないですよ、あれ。あんなに大きくしてしまうと生徒も危険な状態になりますので、その辺、どうですか。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 今すぐどうのこうのと言えないですが、危険性があるということなので、見て、すぐ危険性があるのであればすぐ対応しないといけないと思うんですが、植林してからどうのこうのという話も議員からあるので、時間的にはまだ余裕があるということよろしいですか。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） すぐ危険というわけじゃないでしょうけれども、防風のために植えた木になっていますので、その防風林をあんなに大きくしてしまったら本当に危険なんです。風が絡むとどっちに転ぶかも分からないので、取りあえず植林して根づいてから今立っている木を切る、そのほうが私はいいと思うので、それを検討していただきたい、早めによろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 危険性があるかどうか、すぐ調査して、取りあえず枝を切るだけで危険性が回避できるならそれはそれでやりますけれども、木そのものを切るというのはかなり大変な作業になるかと思うので、そこは検討していきたいと思います。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 現場を見れば分かると思うんですけども、枝を切るとかの問題じゃないんですよ。風が絡むと木というのはどっちに転ぶか分かりません。ですから、今から検討しておいて、なので、植林をした後で、根づいたら伐採の方向に持っていくという方向でお願いしたいと思います。（発言あり）

○議長（本郷良克君） いや、駄目です。どうぞ、太田議員。

○4番（太田英一君） 中学校が開設されてから35年ぐらいたつのかな。そのぐらいたつはずなんです。あそこは浜風が強くてということで、防風林という名目でわざわざ背

丈の高い木を選んで植えて、想像以上に高くなっているということで小倉議員が指摘しているのですが、その防風林を今から切るとか枝払いしてしまうと防風林の意味がなくなってしまうので、それを確認した上で、植林して、適正に管理して防風林の能力を継続させていただきたいというお願いですので、そういう配慮で維持管理をお願いしたいと思うんですけども。（「補足ありがとうございました」の声あり）

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 子供たちへの危険性があるということなので、それから防風林の役目もあるということなので、そこは検討しながら、どう進めていけばいいか考えて進めます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 129ページに農業委員会タブレット端末通信費とあるんですけども、この農業委員会のタブレットの端末はどのような形で使われているのでしょうか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） こちらはSIM内蔵で、差すことでどこでも通信できるタイプになっておりまして、農業委員会で農地の確認に行った際に台帳とか農地法とかの閲覧ができるようになっております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） これは現地に行って地図を確認したりとかそういう形で使っているということなんですよ。

関連は正直ないんですけども、これは議員の中で少し話題になったことがありまして、例えばこういう予算書を頂くときに、紙ですと多くの紙を使うことになるかと思えます。議員にタブレットを導入している自治体もありますので、いずれは、今回の予算は関係ないんですけども、いずれは私たち議員にタブレットを安いのもいいので支給していただければ、紙も無駄にならないし、持ち運びも便利かと、いちいちバインダーに取らなくてもデータを管理できるというメリットもあると思うのでお聞きしました。ぜひそういうところも考えていただければと思います。今じゃなくていいです。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 予算書を含めてペーパーレス化というのが進んでいるところがございます。予算書については、今回、議員の皆様からご指摘ありましたけれども、若干ゆがんでいるところがありました。手作りの議案書で、この枚数を刷る

と、ドラムというか、あれがゆがんでしまいますと私たちにはどうにもならないぐらいになっておりますので、そういったのもあったりして、タブレットがあれば、予算書だけでなく、議員皆様への通知関係とかもタブレットで確認できるような、通信環境を整えればできるのかなというのは私も考えておりましたので、そこは議会の皆さんとこれから協議して前向きに進めていきたいと思っています。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 137ページの秋まつり実行委員会交付金、春まつり、秋まつり、夏まつりの3大祭りを実施しているんですけども、秋まつりにかかわらず、祭りの前日、終わった後、実行委員会はあるんですけども、職員ばかりでやっているような感じを受けてならないんですよ。よその町村ではテントの準備と後片づけを業者に委託してやっているところもあるんですよ。その辺も考えながら、祭りに関してのテントの設営と撤去だけでも、職員に頼らず、業者に委託してやられたほうが職員の皆さんの軽減にもなるし、土日、祭りは大概日曜日なので、土曜日にテントを準備して、月曜日は事務的仕事をやらないで外でテントを片づけて掃除してということになっているので、その辺、何とか今年からでも、夏まつりの交付金を6月に予算補正してでも業者に委託できるところは委託して、職員の皆さんの軽減を図っていただきたいなと私は思いますけれども、課長、どう思いますか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 職員には祭りのたびに手伝ってもらって、朝早くからやっております。確かに家庭の事情とかで来れない場合とか人手が足りない場合もあるんですが、実際は地区の皆様であるとか、いろいろ呼びかけて皆さんに手伝ってもらっております。ただ、今後、もっと人手がなくなってくると外部にその部分を委託ということは考えなければいけないなという考えは持っておりますので、今年それをやるかどうかまでは、観光協会とも相談はしてないんですが、一応検討はしたいと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 一応でなくて前向きに検討してください。「一応検討します」ということじゃなくて、職員は本当に大変なんです。遠田課長をはじめ何日も、3日続けて出なければ駄目なんです。振替休日があっても使えないとか、そういうことになってしまっているんですよ。そういう状況を踏まえて、きっちり業者に委託、町からの交付金が増えても、町の宣伝のためなので、長くそれを続けるためには、職員も1年に

1個ずつ年を取っているんですよ。そういうことを考えると私は絶対やるべきだと思います。6月補正して、夏まつりからでもいいので、なるべく職員の皆さん。観光協会は何人いるんですか、後片づけと準備で。その辺を考えると前向きにきっちりしたことをやらないと職員も大変ですよ、課長をはじめ。私はそう思います。予算処置をするためには財政課の課長の意見も聞きたいので、総務企画課長、どうですか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 常々職員が足りないという話は出ております。当然我々もそれを感じております。昔のように職員がいっぱいて、みんなで頑張ろうという状況でもございません。選挙看板も総務課でやっていたのを業者に委託したら非常に楽です。そういうのもあります。

綿谷議員がおっしゃられたとおり、朝早く6時ぐらいから夜も9時過ぎまでやって、また次の日に出て、自分の業務もありながら、残しながらまたやって、帰ってきたら残っている仕事をやらなければならない、そういう悪循環になっていると思います。

どこの業者、イベント業者とかに委託すればいいのか、その辺、こちらで調べさせてください。やる前に議員の皆様ともしかしたら相談することになりますが、金額等を含めて、そういうところはお協力のほどお願いします。こちらで調べさせてもらいます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 町も職員が足りなくて、会計年度任用職員の募集などもしていることも踏まえて、企画総務課長には、ぜひ予算面、産業建設課長とも相談しながら、関係機関と相談しながら、皆さんが出て喜べるような祭りを目指して頑張っていただきたいと私は考えていますので、その辺よろしくお願いします。以上です。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 最後の質問になると思いますけれども、先日、知内のカキニラまつりがありましたよね。その際に今別牛の販売も行われました。そこで私が感じたのは、ここに今別牛促進の議員もいるんですけれども、今別牛に関係している人がたった1人、あと役場職員が業務に当たっていました。これって逆じゃないですか。本来からいけば今別牛をやっている担当の方が行くべきあれだと思うんですよ。それが1人しか行かないで、役場職員のほうが多いんですよ。課長もそういうのを考えていただいて、さっきの綿谷議員と同じなので、この辺、協議会とも協議して、できるだけこの担当者が行くようにして、役場職員はあくまでも役場職員です。そういうのも考えながら協議して

やっていただきたいなと私は思います。

それともう一つ、今別牛協議会、毎年のように800万円とかいろいろなところに補助金を出しているんですけども、私が議員になって10年、その中で1回も実績報告が上がってない。協議会からもらっているんですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 補助金を出しておりますので、町には毎年実績の報告が上がってきております。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 私もそこを聞こうと思っていたんです。実績報告の過去5年分とか、その分の報告できるもの、閲覧できるものについて、議会に提示できないものかという提案ですけども、その点いかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 私の判断で即答できかねるので確認させてください。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 私の立場でこういう話をするのは本当はまずいんですけども、要するに監査のあれなので、監査委員だけが見ても判断できない部分もあろうかと思うので。

これは、昭和四十何年から食肉増産事業という国策で始まった和牛生産です。最初に広島県から増体率の多い種の和牛を導入して、町内で60軒ほど肥育農家がありました。様々な経緯があって、おいしい牛、霜降り牛がはやり始めて、品種改良等々で来ています。そのために特別導入基金なるものを途中で新設して進んできています。一時期、特別導入基金の積立残高が100万円前後だったかな、200万円前後だったかな、そのぐらいに。（「2,000万円」の声あり）当初は2,000万円。（「2,000万円の基金を積んだ」の声あり）最初の2,000万円から最低になったときはたしか現金200万円かそのぐらいまで落ちてしまって、また積立を始めた。何で落ちたかという、高い牛を貸し付けて現物返納、子牛で返して、要するに時価単価が下がって下がって2,000万円から10分の1ぐらいになったはずです。それでまた積み直して増やしてきているという経緯があるので、その経緯を職員も議員もみんなで共有して、改善していくというか、見直していく時期になっているんじゃないかと思ってこの質問をしています。なので、補助金を出している団体には申し訳ないですけども、報告内容を開示できるものであれば我々議員

にも開示していただけるように、行政で何とか努力していただけないでしょうか、町長。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） それは公文書で来ていますので、5年間分、どういう形を求めているか、後で相談しながら、一覧表で5か年分、実績は毎年見えていますので、どういう中身のもの、どういう内容で欲しいのか、その辺、担当課長と詰めながら話して、私が判断しますので、よろしくお願いします。

今話したのは、ついでに逆に、積立金の話でなかったか、一緒にしているの。分かりました。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 牛は後でお願いするとして、157ページ、綿谷議員が質問した内容と絡みもあるんですけども、町の観光協会に交付金590万6,000円、観光協会にこれだけのお金を出しているのであれば、備品消耗品を買っても祭りとかなんとかの準備とか後片づけの臨時の人件費も十分生まれるんじゃないかと思うんですけども、交付金は出したら終わりというもので、使途について細かく追求することは困難かもしれませんが、そういう考え方からして、観光協会にこんな多額のお金を出しているんですから、観光協会は祭りとか観光協会そのものの業務に責任を持って対処していただけるように指導していただけないのでしょうか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 観光協会への交付金は、このお金は100%と言っていいほど春まつりと夏まつりに行きます。秋まつりはさっき言った実行委員会に行きます、さっきの250万円とか。こっちの春まつりと夏まつりは多くかかります、花火大会も入って。花火大会は寄附金をもらって何とかやりくり、年間残るお金が30万円か40万円より残らない。そういう中で運営、花火大会だのそういうのをやるための、春まつりをやるためのお金であって、備品買って何買ってというのでなくて、完全に春まつり、夏まつり、荒馬まつりをやるためのお金ですので、100%。職員はうちほうで任用した職員が観光協会の事務をつかさどっていますので、そういう状況で実際花火も足りなくて、前回、令和7年度はそれでも200万円近くの寄附が集まった状態で、30件集まっていますので、そういう形で町のお金が100%ないとやっていけない状況でありますので、その辺のご理解を何とかしてもらわなければ、春も秋も夏もやっていけない状態です。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 多分そうだと思うんですよ、100%。なので、観光協会に預けるのではなくて、そろそろ町で、昔は企画課で一度やった経緯もあるので、祭り期間中に臨時職員を雇用するなり何なりということで、町で全面的に予算措置して、観光協会そのものは実体があってないようなものだと私は感じています。そういうふうに変革する。人材もいなくなってきたので、観光協会を総務企画課に置くとか、どこに置いても結構ですよ、置くとかして、臨時職員を観光協会に派遣しているということもあるので、役場で100%運営しているのと同じだと思うんですよ。ただ、形式上、観光協会という名称を使うために残しているようにしか感じられないんですけども、どうでしょうか、町長。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 太田議員が言ったように、役場の中に観光協会を置いたときがあります。私も事務局をやっていました。役場の中に観光協会があって、役場がやっているという形になったので、それでは駄目だと、民間人、全町の町内会、総代会も入れながらみんなでやろうと、商工会も、皆さんを入れてやろうということで新たなスタートを切って今の状態です。ただ、今の状態なんだけれども、各町内会の皆さんも年いってまって、手伝いに誰も来れなくなってまって、役場職員がほとんど手伝ってやらなければやれない。ただ、会長、副会長、役員は役場職員でなくて、一般の人たちが会長になったり、地区総代の人が役員になったり、そういうので運営しています。今のところ、私は、私はですよ、今のままで、これでいいと思っています。これを役場に持ってきたら一般の町民の人たちはみんなに逃げますよ。観光協会の名の下に、ふれあい文庫に事務局を置いて、会長がいて、副会長がいてやってるはんで何とか町内会の人もみんな集まってくる。これが役場の中に入ったら、私がやっていた時代のように町内会も手伝わらない。そういう状況があったので今の状態に。地区総代とか会長を選ぶときに誰も返事さんねがった。そういう中で現在になっています。商工会も一緒に行ったのかな、商工会も一緒に事務局、それで商工会も最後は逃げでまったところで立ち上げた状態だったので。その辺、今すぐはできないと思う。今は令和8年度予算のところで、今のところはこれで。観光協会の役員の方は喜んで皆逃げてしまうと思う。今は補助金100%の中でやってるはんで、皆仕事を持っていながら手伝ってくれる状態、そして役場の職員が絶対手伝ってくれるという約束の下でやっている状態なので、何とかもうちょっと1年は見ていかないと、1年というか、3年でも見ていかないと、太田議員の気持ちは分か

るばって、民間の観光協会を離して役場に引っ張ってくれば、役場が100%皆やんねばねぐなってるという感じがします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 町長の言っている経緯は、半分正しくて、半分間違っています。

商工会に観光協会を移した時点で、商工会と観光協会のどちらが上だとか、どちらのほうの仕事をしているかということで商工会の中でもめて、商工会から分裂して観光協会が単独でやるからということで、観光協会は当時会員もいっぱいいたので、独立採算で観光協会がやると。ところが、年数がたったら1人抜ける、2人抜けるということで、観光協会自体が空中分解のような状態で、それで行政に手助けをお願いして今の形になっているので、町長が当時担当した頃のようにはいかないかもしれませんが、何か打開策を考える時期に来ているんじゃないかという意味でお話ししているのです。令和8年度の予算を直せとかということではないので、今後こういう予算をつくるのであれば、行政が全面的に掌握してやったほうがやりやすいんじゃないかという私の気持ちをお伝えしているんです。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） ありがとうございます。

こういう話は今までずっと出てなかったところで、太田議員から言われてこういうのを思い出したんだけど、これから様子を見ながら、議会があれば議員の皆さんとも話をしながら、役場の中でやっていいのかどうかも含めてその辺を話し合っていければと思いますので、よろしくをお願いします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 6款農業水産業費2目林業総務費の関係で、145ページです。

まず1つは、先ほど備品のことを話ししたんですけども、熊対策用備品購入費とあるんですけども、その上にドローンの委託管理も出ているので、まず1つ目は何の備品を買うのか教えていただけますか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 先ほどお話ししましたが、こちらの備品は熊用のおりが2基と赤外線搭載型のドローン1台になっております。維持管理に関しましては、ドローンが赤外線搭載型ですので、メンテナンス等が必要になるので、そのメンテナンスの委託になります。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 太田議員が先ほど聞いて、私も知っているんですけども、改めて確認したことです。

それで、ドローンの維持管理委託料というのは、どこの会社というか、例えば町内の会社、青森市内の会社があるんですけども、青森市内ですか、それとも町内にそういう人がいるんですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） こちらは青森市内の会社ではなくて、会社自体は仙台になります。今回想定している鳥獣被害でよく使われているドローンのメーカーから見積りを頂いております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 私が心配しているのは、仙台市内から見積りをもらっているかもしれないけれども、仙台市内から青森市内へ営業所を出しているとか、恐らくそういうことになる。仙台にドローンがあると熊が出れば仙台までドローンを取りに行くんですか。そこまで考えねば駄目ですよ。今別に熊が出ました、仙台に行ってドローンを持ってきます、熊はいないですよ。そういうことも含めて私は一つずつ確認しながら質問しているんですよ。課長は仙台と言われました。熊が出たとき、仙台までドローンを取りに行くんですか。維持管理はいいですよ。維持管理をするということではなくて、熊が出たとき、赤外線を利用して熊をいかに発見するかということを目標に、目標がそこなんです。熊をいかに早く発見するかでドローンを導入するのに、そのドローンが町外にあれば何も意味ないですよ。その辺も考えてドローンの管理委託とか熊対策を考えてくださいよ。猿もお願いします。ただ、答弁として仙台から見積りをもらいましたというのは、それは分かるんですけども、私が考えているのはそうじゃないんですよ。町民の安全安心のためにドローンを買うんですよ。そこを考えて、すぐドローンを使えるように、そのために職員が資格を取るような制度もあるじゃないですか。そこを考えてやってくださいよ、課長、どうぞ。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） ドローンの維持管理と申し上げましたが、ドローンが仙台に置かれるという意味ではないです。ドローンはあくまでも町役場の所有になりますので、そっちから技術者がこっちに来て点検、メンテナンスを定期的に行うための契約

になっています。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） そうすればドローンは常に役場にあるという感じですか。なら最初からそう言うてくれればいいんですよ。最初からそう言うてくれれば何も問題ないし、すぐ終わるんです。ドローンの問題については、町民の安全安心を守るために、すぐ使えるような維持管理をしてください。

あともう一つなんですけれども、林業で令和6年度に森林経営管理制度意向調査業務委託というのをしていると思います。分かりますか。令和6年度決算で出ているんですよ。令和6年度決算で実績が出て、その結果が出たのであれば当然令和8年度の予算に反映されてくるべきものだと私は考えます。森林経営管理制度意向調査業務委託した結果、どのような結果が出て、その結果を踏まえて当初予算にどう反映されたのかお聞きします。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 令和6年度決算に載っている診断をやった実績はあるんですが、すいません、今の予算にそれがどう反映されているかまで私は確認しておりませんでしたので、確認し次第、お知らせさせていただきたいと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 実は令和6年度の決算で私はこれを質問しているんですよ、どういう調査ですかと。何と答えたかも分かっているんですけども、それは言いません。ただ、私が言いたいのは、何でもそうなんですけれども、調査した、それだけだったら私はやるべきじゃないと思うんです。調査した結果を踏まえて、いかに次の年度の予算に反映させて林業の振興を図るかということをやっていないと調査をやった意味がないと私は考えます。林業というのは長い年月で見ないと難しいところもあるんですけども、せっかくやった意向調査の結果も調べないと分からないということだったので、後で出してくれるということなので、調査結果が分からないということは令和8年度の予算に全然反映されてないということで理解してよろしいですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 申し訳ございませんが、令和8年度のものには反映されてないと思います。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

- 4番（太田英一君） 159ページ、漁業振興費の中の漁業振興事業補助金、これはどこに出しているのか、竜飛今別漁協に出しているのでしょうか。151ページ。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） こちらについては竜飛今別漁協に出しているものになります。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） 補助内容をもし報告できるのであれば報告していただきたいんですけども、今無理であれば後でもいいですけども。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 内容としては、アワビの稚貝放流事業に100万円、藻場造成事業に200万円、ナマコの人工種苗・人工採苗に15万円、ナマコの種苗放流に350万円となっております。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） 前にナマコ単独で補助金を出していましたよね。ナマコという名前を伏せるために振興費に含めたのか、ナマコの放流事業とは別個の事業なのか、その点、分かりますか。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 前のものは決して伏せるためというわけではないんですが、来年度から県の種苗施設から仕入れたもので新たに種苗放流を始めるということで、数年それを続けて様子を見るという話を先日漁協とお話ししましたので、それにつけたものになります。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） 当時、ナマコに対して補助金を出したときは、地元のナマコから採苗して、中間育成までいなくても初期育成をして放流してナマコの生産量を上げるということで、ナマコの何だっけ、放流事業だったっけか、それですってやってきたんですけども、ナマコの中間育成された種苗を県内の業者から買ってまたやるということで、当初試験していた親ナマコから採卵させて、本当の事業、何というの、アメーバでないし、そういうものを放流する事業は完全にやめてしまったんですか。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） その人工で取るやつも別に漁協で継続しております。

- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） それを継続していて、町の補助金は期間が来たので切れたという考え方でいいんですか。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 人工採苗分として15万円は継続して補助しておりますが、切れてはいないです。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） その項目は、どこを探せば出てきますか、15万円。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 先ほど665万円の内訳でナマコの人工採苗15万円というのもお伝えしておりましたけれども、その665万円の中に含まれております。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） 要は、内容は分かる、名前を隠すためにここに入れたのかというのを聞いたんですよ。前にナマコのやつはどうなりましたかと聞いたとき、補助期間が過ぎたので、県内から中間育成したナマコの稚魚を買うことになったのでどうのこうのという説明があってここに至っています。要するに説明の整合性がないと感じたので、悪く捉えれば、ナマコという名前を隠すためにここに入れたのかなと、悪く考えるとそうになってしまいます。先ほどの消耗品とか備品とかじゃないですけども、きちんと細部が説明できるように、前まではナマコの人工放流のための補助金と、「ナマコ」とわざわざつけていましたよね。それを何で集約してここに入れたかというのを聞いたかったです。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 理解しました。決して隠す意図とかがあったわけでもございませぬし、言葉は悪いですが、たまたまこの形でまとめて出してしまったというだけの話なので、記載しなかったのはこちらの不備となります。
- 議長（本郷良克君） 太田議員。
- 4番（太田英一君） これは遠田課長を責めているのではないです。予算書をつくる総務企画課長を責めているんですよ、本来は。私は、常日頃、総務企画課長に、各課から上がった予算要求書を査定の段階でちゃんと細部をチェックして、明細が分かるような予算書をつくってほしいと。たまたまこういうのがあったので遠田課長に細かい説明を

求めましたけれども、これを遠田課長を責めていると勘違いしたら大間違いで、総務企画課長並びに町長に物を申しているんです。こういう予算でなくて、きちんと分かりやすく、経緯を追える予算書をつくっていただきたい。よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 先ほどの綿谷議員からの備品購入と今回の漁業振興補助金は、出すところ、補助金の支出先が同じだからということでこういう形にしたと思うんですけれども、そこはもう一回確認させてください。この経緯になったこと、確かに予算書がここにありますが、見積書も私は見えていますけれども、すいません、ここはちょっと落としていました。以後、細部説明が必要な部分に関しては予算書の説明欄にきちんと掲載するように今後努めてまいります。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） よろしくをお願いします。

その下の内水面の40万円、内水面の事業は何かやっていますか。私が目にした感じというか、体感している限りでは、買って来たものをぼいっと、あと知りませんという状況にしか映らない。

今別川の河川管理について、河川の中に木が生えた、草が生えた、流域が狭まった、広がった、いろいろな苦言が聞こえてきます。でも、内水面漁業組合で人が出てそれに対処しているのを見たことがありません。補助金をもらって補助事業でやっているのであれば、自分たちが維持管理にも尽力しなければならないと思うんですけれども、内水面は、ただお金をやって、買って来た魚を放流するだけで事業は終わりなんですか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 内水面のお金と活動の話なんだけれども、内水面は40万円と出ています。内水面の40万円はほとんどが放流事業のお金です。稚魚を仕入れるためのお金です。来週、総会があるんだけど、総会で資料を見るんだけど、ふだんの活動は、「ぼいっ」としゃべったばって、放流事業をやりながら河川敷の草刈りとか缶拾いとか、そういう活動もやっています。そういう中で、内水面の監視、巡回とかそういうのもやって、昔みたいに社協がやったときみたいな内水面の活動はしてないけれども、それでも組合員が何人かおまして、組合長もきちんとおまして、活動はしています。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 活動している、してないは自己申告なので、それは何とも言えま

せんけれども、ただ、町民が見る目として、当時、内水面の入漁料とか様々なことでいろいろトラブルがあって、今も売っているんですよ、入漁証。3日来て1匹も釣れなかったという人もいます、アユの時期に。腕が悪いんじゃないです。いないんですよ。放流のタイミングも、天気の良い日に鳥がいっぱい飛んでいるさなかに放流する。1,000匹か2,000匹の放流で、カモメでもサギでも一、二羽いると半分以上取られてしまいます。昔みたいに万単位で放流して、昼日中、幼稚園の子供たちに放流させた時代と数が違うんですよ。そうすると生存率も変わってくるんですよ。1万匹の1%なのか1,000匹の1%なのかで全然変わってきます。そういうことを踏まえて、放流の数が少ないのであれば、夕方、日暮れどきに放流するとか、自然の摂理を理解して事業を実施してもらわないと、サギとかカモメにステーキをどうぞと出しているのと同じになってしまいます。その辺、管理指導する立場で、町長、もうちょっと強く言っていただけませんか、内水面のほうに。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 総会には出ますので、今みたいな発言をすれば内水面の組合が怒ってしまうと思うし、ある程度、稚魚の放流、向こうで数字を押さえているから、稚魚の放流、前はもっとお金を出していたんですよ。今話した稚魚の仕入れがどのぐらいになっているか、私はデータがないので、向こうにデータがあると思うんだけど、データがあったら向こうから話をさせますので。そういう中で、全てお金なのさ。ただ、今話した天気によって放流がどうのこうのというので、放流の状況、昔は保育園も行ったし、一般の人も行ってみんなでやったんだけど、今の状況、担当で放流の内容を分かっていたら。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） すいません、個別にはあれですけども、ヤマメ、イワナ等を合わせて全部で3万5,000匹から6,000匹ほど放流しております。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 生息域のない場所にそんな数を放して、要するに貧困地域に人口を増やすようなもんですよ。何で私がこういうことを言うかということ、今別川の水量というのは河川改修した頃と比べると約10分の1です、流量が。そうすると魚の生息域というのは10分の1以下になっているんですよ。そこに昔は5万匹を放したから今も3万匹を放して大丈夫だとか、そんな話じゃないですよ。ですから、内水面の実情、生態系

を勉強して、内水面を維持するのであれば維持してもらいたい。ただ単に苦言を呈して、行政が悪いとか誰が悪いとかということでないで、その辺お話しして、指導できるのは町長しかいないと思うので、町長にお願いしているんです。何とかいい方向に町長が導いていただけないでしょうか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 努力します。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今のページです。漁業振興事業補助金の中には、アワビ、ワカメとナマコですよ。ワカメは2年前から砂ヶ森、奥平部地区でやっていたと思います。縄に入った養殖ワカメの需要、実績はどうなっていましたか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） すいません、水揚げしたワカメの需要まではつかんでおりませんでした。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） ワカメの場合、これまで東部はワカメ専門ですよ。ワカメを個人でやっていたんですよ。何十年も前からワカメは商品になってないんだよ。商品というより、売り物になってなかったんですよ、今でも。何で養殖事業のワカメをやっているか、その辺を知りたいんですよ。2年前からやっているんで、実績があるはずなんですよ。今年も多分やるでしょう。売り物にならないものを何で養殖しているのか、私はその辺を知りたいので。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 売り物になっている、なっていないも含めて漁協に確認してみたいと思います。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） じゃあ何でワカメ養殖に踏み込んだんですか。その辺からお願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 答弁はいいとして、今まで過去何十年も天然のワカメを組合で買おうとしなかったんですよ。売り物にしてないんです、今までは。何で今それを養殖までして、ワカメの養殖をしているのか、それだけ答えてもらえれば。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 何でワカメの養殖をしているのかというか、漁協からはそれを人工種苗としてやりたいということで来ているので町で補助しておりますが、先ほどおっしゃられた需要、売り物になっている、なっていないも含めてこちらでは把握しておらず、ウニ等の餌にもなるだろうし、商品としてなのかどうかも含めて確認をさせてください。なぜワカメに踏み込んだのかというか、これは漁協の要望を受けて補助を続けてきたものとなっておりますので、そこは漁協に確認したいと思います。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） その辺は確認していただきたい。その養殖したワカメをどうしているのかも確認してください。ワカメはどこに行っても生えています、天然ワカメが。養殖するためにはその前にワカメを収穫しなければ駄目なんですよね。出てしまったら売り物にならないんですよ、養殖ワカメ。冬の寒いとき、伸びたものを商品として売るんだと私は思っていますけれども、とにかく今までのやった実績、養殖ワカメというのをどう商品化しているか、それだけ後で調べてもらえれば、お願いします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 土木総務費、167ページなんですけれども、まず委託料のところ土木図面プログラム保守委託料12万3,000円、使用料のところ土木図面作成専用端末使用料20万1,000円、あと借上料、プリンターリース料15万8,000円、その下の土木積算システム導入借上料62万2,000円とあるんですけれども、そうすると土木関係の工事の積算、図面が作成できるということで解釈していいですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 積算に関しては、大きいものに関しては建設技術センター等に委託して、土木積算システムに関しては県で準備したものを共同利用しておりますので、そちら経由で作ってもらった図面をこちらで確認したりとかというのはしますが、職員で図面を作れる者がいるかということになると作れる者はいないと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） そうすれば、技術センターと共有している端末だということですか。全て土木に関しては技術センターに委託してやっていると理解していいですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 全てではないですけれども、一部、別の業者に委託する

場合もありますが、基本的には建設技術センターに委託しております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） そうすれば、全てということじゃないけれども、ほとんど技術センターと連携をしながら土木事業を進めていると、工事を進めているということですよね。

続けて、171ページ、14節工事請負費なんですけれども、600万円がついて、どこを工事するか分からないんです。恐らく600万円の設計は、道路維持工事ほか設計業務委託料200万円とあるんですけれども、これはどこを工事するんですかね。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） こちらに関しては、全部の金額が決まったものに行くのではなくて、例年どおり、設計、公図等を取っている部分もあるんですが、今年度確定しているのは、大川平の会館横の道路端の塀が倒れてきている部分を道路補修、道路に行っているんで、こちらの補修に関しては確定で計画をしております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 例えば急を要する場合のための予算だということでは理解していいですか。委託料の中に、先ほども言いましたけれども、道路維持工事ほか設計業務委託だけで、施工管理は職員がやるんですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 基本的に、よほど大きなものでない限りは職員がやるのがほとんどになっています。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） さっき課長は、職員の中にそういう技術がないので、技術センターと連携してやっているという答弁だったのかなと聞いたんですけれども、設計はできないんだけど施工管理はできるんですか。職員は、設計、積算はできないけれども施工管理はできるんですか。図面も作れない、その中で施工管理はできるんですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 職員といいますか、設計をやってもらった技術センターに都度確認しながら、連携を取りながら、質問事項があればその辺確認しながら、建設技術センターに状況等を確認しながら対応しております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

- 1番（綿谷敏明君） 予算書に載っているほとんどが設計・施工管理ですよ。この部分だけ、設計は載っているんですけども、施工管理が載ってないから私は確認しているんですよ。設計できない、積算できない人が現場を管理できるんですかね、課長。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） 何もできないままで誰も指導してくれる方もいなければできないですけども、基本的には技術センターからの指示、指導を受けておりますので、それに対応しております。
- 議長（本郷良克君） 綿谷議員。
- 1番（綿谷敏明君） それだったら技術センターにお金を払って設計・施工管理して、実際現場で確認するときは職員がついていって勉強する、それが道理だと思うんですよ。図面も見れない、設計書も作れない人が現場に行って、ほかの人の指導を受けてやるんじゃないくて、設計・施工管理をお願いして、その方と一緒に何の検査、何の検査と順序を追って5年6年覚えてから、図面を見れる、設計書を見れる、そういう職員になってから現場を管理すべきじゃないですか、課長、どうですか。
- 議長（本郷良克君） 遠田課長。
- 産業建設課長（遠田剛洋君） おっしゃるとおり、経験を積んでから対応するのが本当だと思います。
- 議長（本郷良克君） 綿谷議員。
- 1番（綿谷敏明君） 現場管理というのは難しいです。特に鉄筋が入ると難しい問題が出てくるので、土木だと意外とそんなに難しくありませんけれども、現場を管理するというのにはある程度の経験がないとなかなかできないですよ。なので、先ほども言いましたけれども、技術センターに設計・施工管理も兼ねながらやっていただいて、その都度、職員が技術センターの職員と一緒に行って、どのような検査をするのか、どのように写真を撮るのか、その辺をきっちり勉強しながら長い目で職員を育てていってほしいと私は思います。町長、どうですか。
- 議長（本郷良克君） 町長。
- 町長（阿部義治君） そのとおりだと思います。
- 議長（本郷良克君） 綿谷議員。
- 1番（綿谷敏明君） 町長もそう思っているようなので、今後いろいろな面で、土木でも除排雪作業でも職員というのは町民が見ている部分もあるので、きっちり

した研修その他をしていただいで業務の円滑化に役立ててほしいなと考えています。この質問はこれで終わります。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 教育委員会の文化財保護費の中に赤根沢の整備工事とあるんですけども、赤根沢の整備工事は前も、たしか去年もやったと思うんですけども、今回は赤根沢のどのような整備をするのか、詳しい内容でなくても、大きい内容でこういう感じですよというのを教えていただければ。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 今年度行ったのは、整備するための測量を行いました。その測量を基に設計監理を委託して、工事に入ってもらうものです。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） それは予算書を見れば分かるんですけども、ただ、赤根沢は今現在ああいふ形で現況があるんですけども、その工事でどのように変わるのかということをおざっぱでもいいのです。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） すいませんでした。

まず赤根沢の洞穴、岩の中に土砂が流れ込んでいましたので、その土砂を掘り起こして、観光客がそばまで来て見れるように整備して、つい立てを立てたり、あと駐車場の整備をして、案内表示板なども新しくつけたりして、観光客とか地元の人が見れる場所、くつろげる場所を整備する予定になっています。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 分かりました。

あと、教育委員会にお願いしたいことがあります。

197ページの教員住宅の管理、前にも私は教育長に住宅の管理をお話ししたんですけども、入っている、入っていないにかかわらず、管理をもうちょっと、私の見る目では、もうちょっとうまく管理してほしいなと思います。例えば入ってないところでも、冬に、町は重機があるんだはんで片づけるとか、入ってないから山盛りでいいのかということですよ。窓のところも雪がいっぱい、それでいいんですかということなので、再度お願いですけども、答弁は要りません、お願いですけども、教員住宅に限っては、入居している、してないにかかわらず、きっちりした管理をしていただきたいなと

思います。

○議長（本郷良克君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（本郷良克君） 議案第17号の質疑を打ち切ります。

お諮りします。議案第17号を原案どおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（本郷良克君） 異議なしと認めます。議案第17号は原案どおり可決されました。

本日はこれをもって散会いたします。

午後4時25分 散会